

3-2-5 施工計画／調達計画

3-2-5-1 施工方針／調達方針

(1) 事業実施に係る基本事項

- ① 漁業施設及び機材整備計画の実施に関し、日本政府及び「ガ」国政府との間の交換公文(E/N)が締結された後、JICA と「ガ」国政府との間で贈与契約 (Grant Agreement ; G/A) が締結される。その後、日本国籍を持つコンサルタントと「ガ」国政府との間でコンサルタント契約が結ばれる。
- ② コンサルタントは、工事に必要な図面、仕様書、工事入札、契約に必要な図書の作成を行い、「ガ」国政府の承認の上、入札資格審査、入札書類の審査手続きを経て、入札により日本法人の建設会社が選定される。
- ③ 建設工事は、「ガ」国政府と建設会社との間で締結される工事契約に基づき行われる。
- ④ 本計画の全体工期は、施設規模・内容及び建設予定地の立地条件から判断して、実施設計も含め詳細設計に 5.5 ヶ月、建設工事に 13 ヶ月が必要である。

(2) 施工方針／調達方針

- ① 本計画で建設する施設は、土木施設として水揚桟橋及び護岸、建築施設として支援センター棟、公衆便所、船外機修理棟等の建築施設である。土木施設においては、桟橋建設位置の水深が浅いことから、捨石仮設堤を構築する陸上施工とし、工費の低減、工期の短縮を図る。建築施設は、良好な土質の埋立地に計画するものであるが、十分な地耐力があることを確認して施工するものとする。
- ② 「ガ」国の大手建設業者 3 社はクレーンなど大型建設機械を少数保有しているが、公共事業をほとんど独占しており、リース料が非常に高価であることが確認された。第三国（南アフリカ及びヨーロッパ諸国）もリース料が非常に高価であるため、日本国調達も考慮し、調達計画を策定する。
- ③ 製氷設備は、維持管理、コストの面を考慮し第三国からの調達とし、その組立・立ち上げ工事は第三国の派遣技術者の指導の下に行う。
- ④ 現地で調達可能な資機材について、その品質と供給能力を十分検討し、できる限り現地調達を優先し、日本からの調達はコスト面から最小限に止める。

3-2-5-2 施工上／調達上の留意事項

(1) 建設事情

1) 建設会社

「ガ」国での建設会社は工事経験も豊富であり、日本の建設会社の下でサブコントラクターとして活用する。

2) 建設機械

「ガ」国内では建設機械のリース料が非常に高価であることが確認された。第三国（南アフリカ及びヨーロッパ諸国）もリース料が非常に高価であるため、日本国調達を比較検討する。

3) 労働者

製氷施設の建設には外国からの熟練技能工の指導が必要である。

4) 建設資機材

* 鋼材

鉄筋の径 16mm 以下は調達可能であるが、輸入品であるため日本よりも高価であるとともに、錆が目立ち、品質上、問題があると考えられる。鋼管杭は現地になく、第三国または日本か

らの調達を比較検討する。

***セメント**

現地で袋詰めされたものと中国産が主流である。ミルシートなど品質を保証するものはないことから、第三国からの調達を検討する。

***木材**

豊富な材料を有している（石油に並ぶ輸出品の代表格）ため、品質の確保された木材及びその加工品を現地にて調達する。

***建築資材**

現地調達は可能であるが、輸入品のため非常に高価である。したがって、第三国からの調達を比較検討する。

5) 安全管理

本計画地は埋立地であり、一般住居はない。工事においては、第三者が侵入しないように工事区域をフェンスで囲い看板等を立てて危険地域であることを明示する。また、計画サイト周辺の幹線道路の混雑が激しいことから、交通整理員の配置など交通安全に留意する。

(2) 施工上の留意事項

- ① 現地の自然条件を十分考慮した適切な、仮設計画、工法計画、工程計画を立案する。
- ② 日本からのスタッフ、専門技術者の派遣は、工事進捗状況に沿って適切な人数、時期、期間を計画する。
- ③ できる限り現地資材を多く採用し、外国からの資材調達を最小限に止める。
- ④ 建設工事には、型枠・鉄筋加工場、資機材置場等を収容する仮設ヤードが必要となる。仮設ヤードは、「ガ」国政府が建設サイトに近接した場所に無償提供する。

3-2-5-3 施工区分／調達・据付区分

日本国側及び「ガ」国側の負担事業は、以下のように区分される。

(1) 日本国側の負担事業

1) 施設建設

- ① 水揚棧橋の建設
- ② 護岸の建設
- ③ 零細漁業支援センター棟の建設
- ④ 船外機修理棟の建設
- ⑤ 公衆便所の建設

2) 供与機材

- ① 鮮魚取り扱い用機材
- ② 加工用機材
- ③ 衛生品質管理用機材
- ④ 船外機修理場用機材

(2) 「ガ」国側の負担事業

- | | |
|---------------------|------------------|
| ① 電気引込み (1,300m) : | FCFA 146,600,000 |
| ② 水道引込み (800m) : | FCFA 27,400,000 |
| ③ 電話線引込み (1,200m) : | FCFA 45,100,000 |

④ アクセス道路（砂利舗装）及び側溝の整備（1,000m）：	FCFA 57,000,000
⑤ フェンス及びゲート建設（1,000m）：	FCFA 22,000,000
⑥ 施工監理経費（直接工事費の1%とする）：	FCFA 32,900,000
⑦ 銀行取極めに係る手数料：	FCFA 4,900,000

基本設計概要説明時に調査団から上記「ガ」国側負担事業の積算額を示したが、「ガ」国側はアクセス道路を砂利舗装ではなくコンクリート舗装する予定であることなどにより、日本側見積り金額は過小であるとの見解を示した。これに対して、調査団から「ガ」国側に負担金額の積算資料を作成の上で日本側に提示すると共に、必要な予算処置をするべく求め、同内容は協議議事録に記載して確認した。

3-2-5-4 施工監理計画/調達監理計画

日本政府の無償資金協力の方針に基づき、基本設計の主旨を十分理解したコンサルタントによって、プロジェクトの一貫した円滑な実施設計業務・施工監理業務を実施する。施工監理段階において、コンサルタントは工事現場に十分な経験を有する常駐監理者を派遣し、工事監理、連絡を行う他、工事進捗に合わせて必要時期に専門技術者を派遣し、検査、施工指導を行う。

(1) 施工監理の方針

- ① 両国関係機関、担当者と密接な連絡、報告を行い、実施工程に基づく遅滞のない施設の完成を目指す。
- ② 設計図書に合致した施設建設のため、施工関係者に対して迅速かつ適切な指導及び助言を行う。
- ③ 可能な限り現地資材による現地工法の採用を優先させる。
- ④ 施工方法・施工技術に関する技術移転を行う姿勢で臨み、無償資金協力プロジェクトとしての効果を発揮させる。
- ⑤ 施設完成引き渡し後の施設の保守管理に対し、適切な助言と指導を行い円滑な運営を促す。

(2) 工事監理業務

1) 工事契約に関する協力

工事施工者の選定、工事契約方式の決定、工事契約書案の作成、工事内訳明細書の内容調査、工事契約の立会い等を行う。

2) 施工図等の検査及び確認

工事施工者から提出される施工図、材料、仕上げ見本、設備資材の検査等を行う。

3) 工事の指導

工事計画及び工事工程等の検討、工事施工者の指導、施主への工事進捗状況の報告等を行う。

4) 支払い承認手続きの協力

工事中及び工事完了後に支払われる工事費に関する請求書等の内容検討、手続きに関して協力を行う。

5) 検査立会い

工事期間中必要に応じて、各出来高に対する検査を行い、工事施工者を指導する。コンサ

ルタントは、工事が完了し契約内容が遂行されたことを確認の上、契約の目的物の引渡し立会い、施主の受領確認を得て業務を完了する。なお、建設中の進捗状況、支払い手続き、完成引渡しに関する必要事項を日本政府関係者に報告する。

3-2-5-5 資機材調達計画

本計画実施に必要な資機材の調達に当っては、特に下記の事項に留意する。

(1) 調達方針

現地での供給可能な資機材について、その品質（及び検査状況）、供給能力（納期、量）を十分検討し、できるだけ現地調達を優先する。日本からの調達はコスト面、納期面から最小限に止める。

1) 日本からの調達

日本から調達される資材の中で、注文製作または国内加工が必要な資材は、発注→製作→梱包→出荷に期間を要するため、綿密な調達輸送計画を立てなければならない。

建設機械は、基本的に現地または近隣諸国から調達し、日本からの調達は最小限に止める。

2) 現地調達

現地調達資材のうち、主材料である石材、骨材等については、その産出地、品質、運搬能力等を十分考慮して決定する。

3) コスト

現地調達及び日本調達の資機材は、コスト比較を行い安価なものを採用する。日本からの調達の場合には、梱包・輸送・保険・港湾費用の加算と免税扱いとなる点に留意する。

以上を踏まえて、本計画に使用する主な資機材の調達を下記のとおり計画する。

(2) 調達品目

1) 建設資材

前項に基づき調達先を検討した結果を表 3-2(27)に示す。

表 3-2(27) 主要建設資材の調達先

建設資材		調達先			備考
		現地	日本	第三国	
土木	栈橋付属工（防舷材、係船柱等）		○		
	石材、骨材	○			
	鉄筋、鋼材	○			
	鋼管杭		○		
	セメント	○			
	型枠材・木材	○			
建築	砂、骨材	○			
	鉄筋	○			
	セメント	○			
	型枠材・木材	○			

	コンクリートブロック	○			
	鉄骨	○			
	建具	○			
	屋根材	○			
	塗料	○			
	タイル	○			
電気	ケーブル	○			
	電線管類	○			
	照明器具	○			
給排水	配管材	○			
	浄化槽		○		
	衛生器具	○			
空調	空調機	○			
製氷	製氷機	○			
機材	鮮魚保管容器			○	カナダ
	その他鮮魚取扱用機材一式		○		
	加工用機材一式		○		
	衛生品質管理用機材一式		○		
	船外機修理用機材一式		○		

2) 建設機械

表 3-2(28)に使用を予定している建設機械を示す。

表 3-2(28) 主要建設機械の調達先

建設機材	調達先			備考
	現地	日本	第三国	
クローラークレーン 35-40 t 吊級	○			
バックホー 0.6m ³	○			
ダンプトラック 10t	○			
ラフテレーンクレーン 16t 吊	○			
クラムシエル 1.0m ³	○			
パイプロハンマ 45kw	○			
溶接機 D300A	○			
発電機 150KVA	○			

3-2-5-6 品質管理計画

(1) 材料の品質管理

本工事に使用する材料については、漁港工事共通仕様書(全国漁港協会編)及び港湾工事共通仕様書(国土交通省)、建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5(日本建築学会)、建築工事共通仕様書(国土交通省)、建築工事監理指針(国土交通省)、日本工業規格(JIS)、フランス基準に従い監理し、事前の承認を受け使用するものとする。

(2) コンクリートの配合設計

本工事で使用するコンクリート及びモルタルの配合を策定し、事前に試験練りを行い、その強度、練混ぜ時間等を確認するとともに、打設方法について検討を行う。また、各配合別

に試験成績表、コンクリート強度管理表、管理図(X-R 管理図等)を作成し、品質の維持・管理を行う。

3-2-5-7 実施工程

日本政府の無償資金協力により本計画が実施される場合、両国間の交換公文 (E/N) 締結後に JICA と「ガ」国政府との間で贈与契約 (Grant Agreement ; G/A) が締結される。その後、「ガ」国政府によって日本国法人コンサルタントの選定が行われ、同国政府とコンサルタントの間で設計監理契約が締結される。その後、実施設計、入札図書作成、入札・工事契約及び建設工事を経て事業は完了する。

(1) 実施設計業務

「ガ」国の本計画の実施機関と日本法人コンサルタントとの間で、コンサルタント契約が締結された後、契約書の JICA による認証を経て、コンサルタントは実施設計を開始する。実施設計では、本基本設計調査報告書を基に、実施設計図書、仕様書、入札要綱等の入札用設計図書一式が作成される。この間、「ガ」国政府側と施設・機材の内容に関する協議を行い、最終的に入札設計図書一式の承認を「ガ」国政府から得るものとする。

実施設計の所要期間は、3ヶ月程度である。

(2) 入札業務

本計画施設の施工業者（日本法人建設会社）は、入札により決定される。入札は、入札公示、入札参加願いの受理、資格審査、入札図書の配布、入札、入札結果評価、工事請負会社指名、工事契約の順に行われ、2.5ヶ月を要する。

(3) 建設工事

工事契約締結後、契約書の JICA による認証を経て工事に着手する。本計画の施設規模・内容、現地建設事情等を考慮し、不可抗力による事態が起こらないという前提のもとに工期を試算した結果、工期は約13ヶ月が必要である。

交換公文 (E/N) 締結以後、竣工に至る本事業の実施工程は、表 3-2 (29) に示すとおりである。

表 3-2 (29) 事業実施工程表

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考
実 施 設 計	コンサルタント契約・計画内容最終確認 (現地確認)															
	入札図書作成 (国内作業)															
	入札図書承認 (現地確認)															
調 達 ・ 施 工	入札業務 (国内作業)															
	(準備・仮設工)															
	土木工事															
	水揚棧橋															
	護岸															
	建築工事															
	外構工事															
	零細漁業支援センター棟															
	船外機修理棟															
	公衆便所															
ゴミ集積所																
調達機材																
先方負担工事																
サイトまでの給電・給水																
アクセス道路																

3-3 相手国側負担事業の概要

本調査実施期間中に、ミニッツ等で確認された相手国側分担事業の概要は以下のとおりである。

- ①環境影響評価（EIA）の実施
- ②環境許可の取得
- ③施設建設の認可の取得
- ④本計画に必要な用地（仮設ヤード）の確保
- ⑤建設残土の投棄場所（サイト近隣）の確保
- ⑥電気、水道及び電話の引込
- ⑦施設の運営維持管理に関する電気・水道・電話料金の負担
- ⑧計画サイトへのアクセス道路及び雨水側溝の整備
- ⑨計画サイト周辺のフェンス・ゲートの建設
- ⑩本計画にて整備する海洋土木構造物の影響により周辺海域及び海浜部において堆砂・洗掘等が発生した場合、必要な維持管理
- ⑪「ガ」国へ輸入される機材の通関における免税処置
- ⑫認証された契約及び契約に係る業務を遂行するために「ガ」国に入国する日本人に対し、「ガ」国で課せられる税金その他の課徴金の免税
- ⑬認証された契約に係る業務を遂行するために「ガ」国に入国する日本人に対し、同国入国及び滞在に必要な便宜を与えること
- ⑭銀行取決め及び支払受権に係る手数料
- ⑮工事に必要な「ガ」国内での許可・認可取得
- ⑯日本の無償資金協力によって建設された施設の適切かつ有効な利用
- ⑰本計画に必要な費用で、日本政府による無償資金協力の範囲外の一切の費用の負担

3-4 プロジェクトの運営・維持管理計画

3-4-1 事業実施体制

漁業養殖総局から本計画施設の運営計画資料を入手した。本計画の施設の運営維持管理は過去に整備された漁民センターと同様に、漁業養殖総局と漁民組合組織の共同管理体制により行われる。最終的な維持管理組織は22名体制（図3-4(1)参照）が計画されているが、設立当初はこの約半分の人員体制で運営維持管理を行う予定である。人員は漁業養殖総局と漁民組合から確保するとともに、一部新規雇用も行う予定である。機材メンテナンス等に係る技術スタッフを確保することは過去の漁民センターでの経験をみても問題ないものと考えられる。

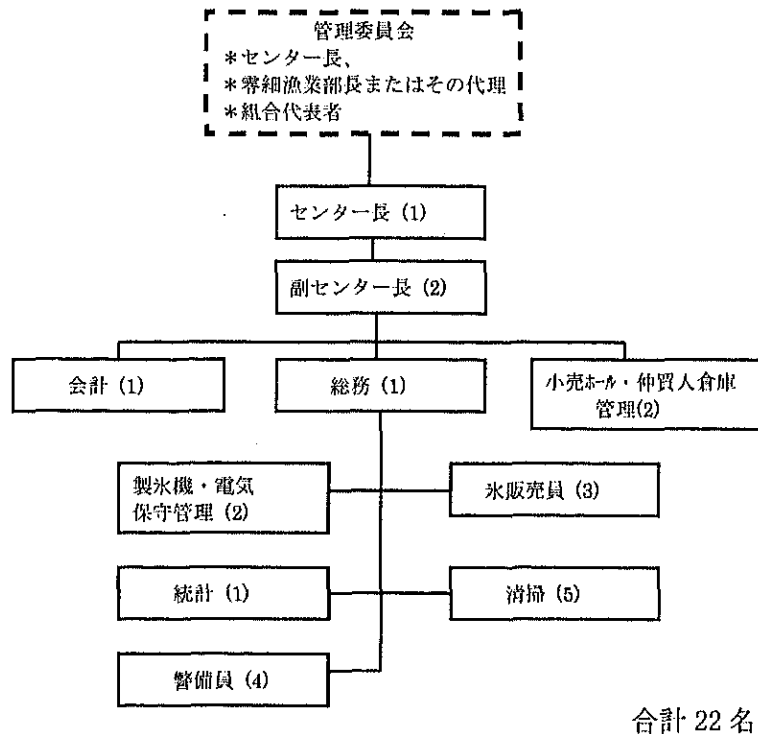


図3-4(1) 運営組織図案

3-4-2 運営維持管理組織

現地調査時に漁業養殖総局から提出された運営要員は合計22名である。ただし、衛生品質管理要員（獣医）1名を追加し、清掃員5名の内1名をセンター長秘書とし、図3-4(2)に示す23名体制が想定される。また、同施設の運営管理体制を強化する観点から、運営組織の活動方針を決定し、定期的に運営組織の監理を行う組織として、漁業養殖総局、センター長、副センター長、漁民組合代表者などから構成される管理委員会を同時に設立する。

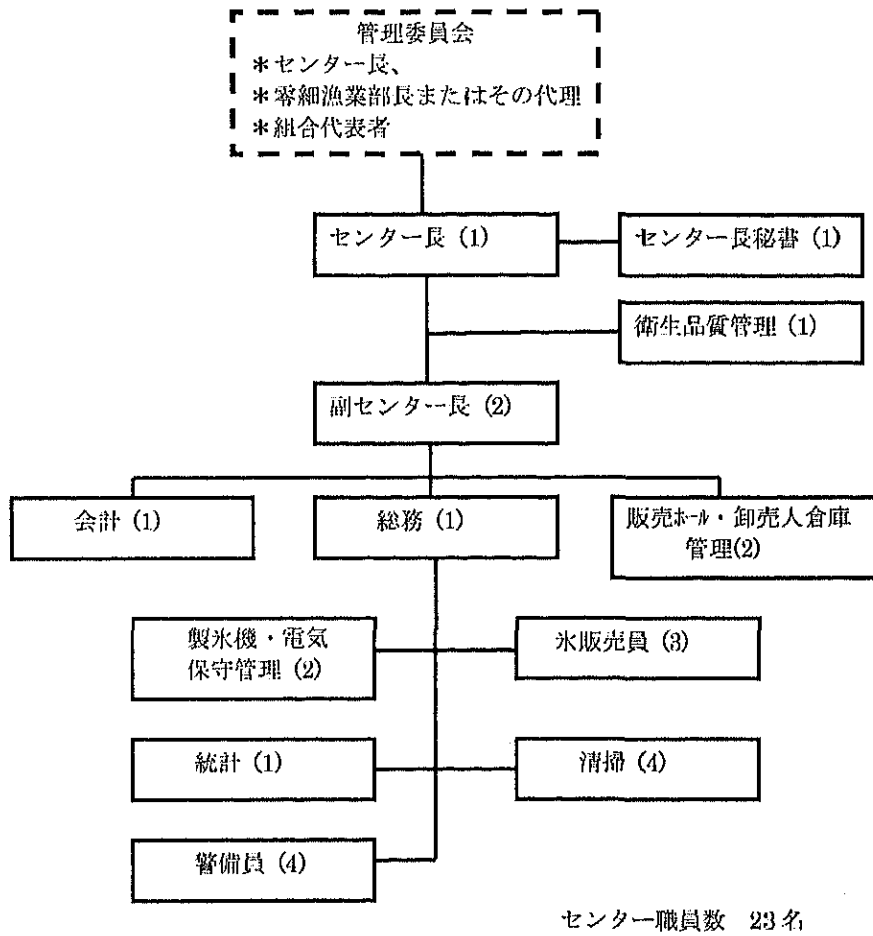


図 3-4(2) 運営組織図

3-5 プロジェクトの概算事業費

3-5-1 協力対象事業の概算事業費

本計画を日本政府の無償資金協力によって実施する場合に必要な事業費総額は、約 14.31 億円となる。先に述べた日本政府と「ガ」国政府との負担区分に基づく双方の経費内訳は、下記に示す積算条件をもとに次のように見積もられる。

(1) 日本国側負担経費

概算事業費

約 1,350 百万円

表 3-5(1) リーブルビル零細漁業支援センター建設計画概算事業費内訳

費		目	概算事業費 (百万円)	
施設	土木工事	水揚棧橋 護岸	313	1,206
	建築工事	零細漁業支援センター棟 公衆便所 船外機修理棟 外構工事	840	
機材		鮮魚取り扱い機材 加工用機材 衛生品質管理用機材 船外機修理用機材	53	
実施設計・施工監理			144	

注：この概算事業費は暫定的なものであり、無償資金協力の承認のため日本国政府によってさらに検討される。

(2) 「ガ」国側負担経費

「ガ」国側負担経費は約 335,900,000FCFA (日本円約 0.81 億円) となる。詳細は以下のとおりである。相手国負担事項のうち、公共事業省による施工監理経費、銀行取極め手数料の負担 37,800 千 FCFA は財務省により行われ、それ以外の経費 298,100 千 FCFA については漁業養殖総局が約 5 億 FCFA のプロジェクト予算を企画省に要求して確保することが基本設計概要説明調査時に確認されている。また、財務省負担分 37,800 千 FCFA は 2008 年の国家予算 1,798,100 百万 FCFA の 0.002% であり、負担可能な額である。

① 電気引込み (1,300m) :	FCFA 146,600,000
② 水道引込み (800m) :	FCFA 27,400,000
③ 電話線引込み (1,200m) :	FCFA 45,100,000
④ アクセス道路及び側溝の整備 (1,000m) :	FCFA 57,000,000
⑤ フェンス及びゲート建設 (1,000m) :	FCFA 22,000,000
⑥ 施工監理経費 (直接工事費の 1%とする) :	FCFA 32,900,000
⑦ 銀行取極めに係る手数料 :	FCFA 4,900,000
小計	FCFA 335,900,000

(3) 積算条件

- ① 積算時点 : 平成 20 年 10 月
- ② 為替交換レート : 1US ドル=106.75 円

1 ユーロ=159.48 円
(平成 20 年 5 月～平成 20 年 10 月末日)
1 ユーロ=FCFA 656
1FCFA=0.243 円

- ③ 施工期間 : 詳細設計及び工事の実施期間は、実施工程表に示すとおりである。
④ その他 : 本計画は、日本政府の無償資金協力の制度にしたがって実施されるものとする。

3-5-2 運営・維持管理費

(1) 運営維持管理費

1) 基本設定

① 年間氷販売量

製氷機能力は 9 トン/日であるが、実販売量は年間平均を考慮し、1 日当たり平均水揚量 5.5 トンに 1:1 対応する施氷量 5.5 トンとする。また、年間の製氷機稼働日数は、365 日からガボンの祝日 12 日を差し引いた 353 日とする。

年間氷販売量=5.5 トン/日×353 日=1,942 トンとする。

② 収入

(a) 氷販売

氷の販売料金をポールジョンティの組合員単価 35FCFA/kg 及びリーブルビル市内民間製氷業者単価 50FCFA/kg を考慮し、40FCFA/kg とする。

1,942 トン×40,000FCFA/トン=77,680,000 FCFA

(b) 施設機材の賃貸料

ポールジョンティ、ランバレネ漁民センターの会計実績から以下のように設定する。

- * 卸売人倉庫 (鮮魚保管容器付き) : 1 庫当り 1 ヶ月 8,000 FCFA×120 庫=960,000 FCFA/月
- * 小売用販売台 (吊り秤含む) : 1 台当り 1 ヶ月 1,000 FCFA×30 台=30,000 FCFA/月
- * 鮮魚処理ブース : 処理人 1 人当り 1 日 100 FCFA×8 人=800 FCFA/日
- * 塩干加工場 : 処理場、塩蔵室、保管倉庫、天日干し場を含め
1 業者当り 1 ヶ月 10,000 FCFA×6 業者=60,000 FCFA/月
- * 船外機修理場 : 年間 500,000 FCFA で修理業者に賃貸

③ 支出

(a) 人件費

ポールジョンティ漁民センターの実績から表 3-5(2)のように設定する。センター長及び衛生品質管理員は漁業養殖総局から派遣されるため、日当ベースを計上する。

表 3-5(2) 職員の月額給与

役職	人数(人)	月額給与(FCFA)	備考
センター長	1	210,000	日当ベース
衛生品質管理員	1	180,000	日当ベース
副センター長	2	270,000	
会計	1	240,000	
総務	1	180,000	
販売ホール、卸売人倉庫管理員	2	180,000	
製氷機保守管理	1	240,000	
電気保守管理	1	240,000	
統計	1	180,000	
センター長秘書	1	180,000	
氷販売員	3	90,000	
清掃員	4	90,000	
警備員	4	90,000	
合計	23		

(b) 水道料金・電気料金・電話料金

水道料金、電気料金及び電話料金は政府負担であることから、計上しない。

(c) 積立金

製氷機材などの更新のために全収入の10%を積み立てることとする。

(d) その他支出

ポールジョントンティ漁民センターの2007年の会計実績から以下のように設定する。

- * 会議費 : 700,000 FCFA/月
- * 事務・消耗品費 : 700,000 FCFA/月
- * 施設維持管理費 : 700,000 FCFA/月
- * 交換部品代 : 6,500,000 FCFA/年

(2) 運営収支

表 3-5(3) に既存ポールジョントンティ及びランバレネ漁民センターの年間収支実績を基に算出した年間運営収支を示す。収入は 91,000 千 FCFA、支出は積立金を含め 83,280 千 FCFA であり、年間 7,720 千 FCFA の利益が見込まれる。収入では氷販売が約 85% 占め、支出では人件費が約 51% を占めている。ただし、水道料金、電気料金及び電話料金 (51.7 百万 FCFA) は既存ポールジョントンティ及びランバレネ漁民センターと同様に「ガ」国政府財務省から直接支払われる計画である。これは、2008 年の国家予算 1,798,100 百万 FCFA の 0.003% であり、負担可能な額である。積立金として、製氷機材などの更新のために全収入の 10% を積み立てることとする。

計画施設運営は独立採算制が取られる予定であるが、運営が赤字になった場合の資金補填は漁業養殖総局が行うことを基本設計調査時に確認した。

表 3-5(3) 年間運営収支

項目	算出根拠	金額 (FCFA)	割合 (%)	
収入	1. 氷売上	5.5ト×353日×40,000FCFA/ト	77,660,000	
		氷売上小計	77,660,000	
	2. 施設使用料	2.1 卸売人倉庫(鮮魚保管容器付き) 8,000FCFA/月×120庫×12月	11,520,000	
		2.2 小売用販売台(吊り秤含む) 1,000FCFA/月×30台×12月	360,000	
		2.3 鮮魚処理場 100FCFA/日×8人×300日	240,000	
		2.4 塩下加工場 10,000FCFA/月×6業者×12月	720,000	
		2.5 船外機修理場 1年間 500,000FCFA	500,000	
	施設使用料小計	13,340,000	14.7	
	収入合計	91,000,000	100.0	
支出	1. 人件費	1.1 センター長 210,000FCFA/月×12月	2,520,000	
		1.2 衛生品質管理員 180,000FCFA/月×12月	2,160,000	
		1.3 センター長秘書 180,000FCFA/月×12月	2,160,000	
		1.4 副センター長 270,000FCFA/月×2人×12月	6,480,000	
		1.5 会計 240,000FCFA/月×12月	2,880,000	
		1.6 総務 180,000FCFA/月×12月	2,160,000	
		1.7 小売ホール・卸売人倉庫管理員 180,000FCFA/月×2人×12月	4,320,000	
		1.8 製氷機保守管理員 240,000FCFA/月×12月	2,880,000	
		1.9 電気保守管理員 240,000FCFA/月×12月	2,880,000	
		1.10 統計員 180,000FCFA/月×12月	2,160,000	
		1.11 氷販売員 90,000FCFA/月×3人×12月	3,240,000	
		1.12 清掃員 90,000FCFA/月×4人×12月	4,320,000	
		1.13 警備員 90,000FCFA/月×4人×12月	4,320,000	
		人件費小計	42,480,000	51.0
		2. その他費用	2.1 会議費 700,000FCFA/月×12月	8,400,000
			2.2 事務・消耗品費 700,000FCFA/月×12月	8,400,000
			2.3 維持管理費 700,000FCFA/月×12月	8,400,000
		2.4 交換部品費 6,500,000FCFA/年	6,500,000	
	その他費用小計	31,700,000	38.1	
	3. 積立金	積立金 年間収入合計の10%	9,100,000	
	積立金小計	9,100,000	10.9	
	支出合計	83,280,000	100.0	
収支合計		7,720,000		

3-6 協力対象事業実施に当たっての留意事項

協力対象事業を円滑に実施するため、交換公文締結後「ガ」国による速やかな対処が望まれる留意事項を以下に示す。

- ①「ガ」国政府による環境許可に必要な環境影響評価（EIA）の実施や施設建設に係わる許認可取得等の手続きを迅速かつ遅滞なく実施する。
- ②床掘り工事にともない発生する建設残土の投棄場所を計画サイト付近に確保する。
- ③計画サイトは現在空き地であり一般住民の居住はないが、サッカー場として利用されている。また、オルミ市場が隣接し、対岸にはミッシェルマリーンが立地している。工事期間中は陸上及び海上から工事区域内に近寄らないよう周辺住民、ミッシェルマリーン利用者、漁民への周知、協力を指導する。
- ④零細漁業支援センター完成後の供用開始に向けて、センター管理委員会を設立し、センター職員の雇用や漁民組合側の準備を行う。
- ⑤漁業養殖総局は施設供用開始の3ヶ月前から新聞・ラジオ等により「ガ」国内の広報活動を行い、漁民が既存水揚場から新センターに水揚するように指導する。

第4章

プロジェクトの妥当性の検証

第4章 プロジェクトの妥当性の検証

4-1 プロジェクトの効果

本プロジェクトは、以下に示す効果がもたらされる。

【直接効果】

1) リーブルビル周辺の鮮魚水揚の集約

リーブルビル周辺の5つの既存水揚場に分散して、1日当たり60隻の零細漁船により水揚されていた中層・底魚の8.9トンが新センターの水揚棧橋から集約して水揚されることにより、水揚時の潮待ちや漁船から海岸までの漁獲物運搬の労力が軽減される。

2) 漁獲物の取り扱いの衛生状況の改善

既存水揚場において屋根がなく不衛生なシート上に並べて販売されていた漁獲物の荷捌・販売が衛生的な屋根付きコンクリート土間にて行われ、かつセンター内で製造された氷によって鮮度保持されて市中市場等に搬出される。

3) 鮮魚の流通体制の整備

中層・底魚の水揚、荷捌、施氷、小売、一時保管機能が流通拠点である新センター内で効率的に行われ、首都リーブルビルへの鮮魚流通体制が改善される。

【間接効果】

1) 零細漁業支援センターの整備により漁業活動が効率的に行われ、リーブルビル周辺の零細漁業が活性化する。

2) 零細漁業支援センター内に会議室兼研修室の整備により、零細漁民への資源管理に対する教育・指導が徹底され、「ガ」国水産資源の持続的利用に寄与する。

3) 首都リーブルビルへの鮮魚流通体制が改善され、衛生的な鮮魚が一般消費者に供給される。

計画実施による効果と現状改善の程度を表 4-1(1)に示す。

表 4-1(1) 計画実施による効果と現状改善の程度

現状と問題点	本計画での対策（協力事業）	計画の効果改善程度
1. リーブルビル周辺の 5 つの既存水揚場に分散して中層・底魚が水揚されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水揚棧橋の整備 ・ 荷捌場の整備 ・ 製氷設備の整備 	新センターに集約して水揚される。
2. 各水揚場に製氷機がないため、流通過程で鮮度低下がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製氷設備の整備 ・ 鮮魚取り扱い用機材の調達 	荷捌場の製氷機による氷によって、流通過程での鮮度低下を防ぐことができる。
3. 水揚場には屋根がなく、鮮魚は不衛生なシート上で販売され、漁獲物取り扱いの衛生状態が悪い。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 荷捌場の整備 ・ 小売ホールの整備 ・ 鮮魚取り扱い用機材の調達 	漁獲物の荷捌・販売が衛生的な屋根付きコンクリート土間にて行われ、衛生状態が改善される。
4. 鮮魚が各水揚場から分散してリーブルビル市中市場に輸送される。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水揚棧橋の整備 ・ 荷捌場の整備 ・ 製氷設備の整備 ・ 鮮魚取り扱い用機材の調達 	新センターが首都リーブルビルへの流通拠点として機能する。

4-2 課題・提言

本計画施設の建設完了後、リーブルビル零細漁業支援センターの有効利用を図るため、以下の点に十分留意して管理運営にあたることの実施機関である漁業養殖総局に求められる。

1) 水揚集約のための政策策定

リーブルビルにおいて各地に分散して実施されている水産物の水揚を本計画施設に集約するため、必要な政策を策定する必要がある。

2) 継続的な啓発活動の実施

本計画施設を活用して、衛生的で効率的な水揚・鮮魚取扱を行うため、施設利用者である漁民や鮮魚流通業従事者に対して必要な啓発活動を継続的に実施する必要がある。

3) 水産物加工施設、漁船の係留施設

零細漁業振興に資するため、水産物加工施設、漁船の係留施設についても早期に整備に係る計画策定・実施を進める必要がある。

4) アクセス路の整備

利用者の利便性の観点から、リーブルビルの中心街方向に向けたアクセス路整備につき、検討を行う必要がある。

5) 施設建設期間中の事故防止

本計画施設建設期間中の事故防止のため、リーブルビル市内において工事実施を周知するなど、必要な措置を講じる必要がある。

6) 廃棄物の処理

本計画施設において発生する水産物由来の廃棄物を有効に活用し、環境改善・資源利用に資するため、廃棄物の分別収集及び有効利用する必要がある。

7) 安全かつ効率的な水揚棧橋の管理

水揚棧橋は、利用漁船数に対し最小限の整備にとどまっている。水揚時に漁船が集中する可能性があるが、漁業養殖総局が陸揚げ順番を適切に指示し、安全でかつ効率的な棧橋の活用と管理を実施する必要がある。また、漁船の長時間の係留が棧橋混雑の要因になる場合が多く、漁船の棧橋からの移動を含め、漁民に対する棧橋利用規則の遵守・指導を行うことが必要である。

8) 定期的な施設の点検

施設の機能を損なわず、その寿命を延ばすためには、定期的な施設の点検と維持管理が重要である。一般に、建築施設は10年を過ぎれば点検・補修が必要となる。したがって、本施設完成後、漁業養殖総局は施設の点検項目(例えば構造物の錆の発生等)を設定して定期的な点検を実施し、損傷が発見された時には速やかに補修することが望まれる。

9) 棧橋の維持浚渫

海浜の漂砂現象や河川からの土砂流入による急激な埋没は、自然条件調査結果を分析する限りにおいては考えられないが、長期的な埋没・浸食等の変化は避けられない。したがって、定期的に深浅測量を実施し、必要であれば「ガ」国政府によって維持浚渫されるべきである。

4-3 プロジェクトの妥当性

首都リーブルビルが位置するエスチュエール州には、同国の総人口の約60%が居住し、水産物は同州住民への動物性タンパク質の供給に重要な役割を果たしている。しかしながら、漁獲物の水揚はリーブルビル近郊に分散する6カ所の水揚場で行われており水産物流通が非効率である、既存水揚場には専用の水揚施設や製氷設備がないため非効率かつ不衛生な状況下にある、といった問題点を抱えており、首都リーブルビルへ安定した水産物供給を行うためにも、衛生的な水揚環境の整備と円滑な水産物供給体制の構築が必要とされている。

本計画は「ガ」国政府が首都リーブルビルにおける零細漁業の総合的な開発を目指して策定した「零細漁業統合経済開発拠点整備計画」の下、零細漁業振興のためにリーブルビルにおける零細漁業施設基盤・機材を整備することが目的である。

以上のリーブルビル零細漁業支援センターの整備は、「ガ」国エスチュエール州の零細漁業振興のためには不可欠で、本計画の実施は「ガ」国水産業振興に大きな効果をもたらす。

本プロジェクトの直接裨益対象として零細漁民約1,200人と関連産業従事者数百人の漁業活動を改善する効果をもたらす。さらに、エスチュエール州の零細漁業振興が図られることから、同国の水産物輸入量の減少に寄与し、「ガ」国エスチュエール州住民約78万人に間接裨益する。

また、本プロジェクトは「ガ」国の水産開発計画に掲げられている①零細漁業及び養殖業の振興のための組織創設、②水産業従事者の労働条件の改善、③水産基盤施設の整備という上位計画にも合致する。

本プロジェクトの完成後、施設及び機材の管理・運営は漁業養殖総局が行うことになっており、管理・運営上の問題は生じない。

以上のように、本計画によるリーブルビル零細漁業支援センターの整備は、無償資金協力による実現が強く望まれている。本計画は、その実施効果及び計画の性質から判断して妥当かつ有意義なものと考えられる。

4-4 結論

本プロジェクトは、前述のように多大な効果が期待されるとともに、本プロジェクトが「ガ」国の零細漁業の振興に寄与するものであることから、協力事業の一部に対し、我が国の無償資金協力を実施することの妥当性を確認できる。さらに、本プロジェクトの運営・維持管理についても、相手国側体制は人員・資金とも十分で問題ないと考えられる。

(資料編)

資料1. 調査団員・氏名

【基本設計現地調査時】

調査団員氏名	担当	所属
杉山 俊士	総括	JICA 国際協力専門員
丸尾 信	計画管理	JICA 農村開発部乾燥畑作地帯第二課
竹本 仁之	業務主任/水産物流通/ 運営維持管理計画	株式会社エコー
酒井 修二	港湾土木計画/ 自然条件調査	株式会社エコー
朝吹 正行	建築設計/設備計画	株式会社福永設計
森本 孝	環境社会配慮	株式会社エコー
白鳥 善宣	調達計画/機材計画/積算	株式会社エコー
村瀬 博一	施工計画/積算	株式会社エコー
岡田 有加	通訳	株式会社翻訳センターパイオニア

【基本設計概要説明時】

調査団員氏名	担当	所属
花井 淳一	総括	JICA 農村開発部乾燥畑作地帯第二課長
荒 高弘	無償資金協力政策	外務省国際協力局無償資金・技術協力課 外務事務官
丸尾 信	計画管理	JICA 農村開発部乾燥畑作地帯第二課
竹本 仁之	業務主任/水産物流通/ 運営維持管理計画	株式会社エコー
朝吹 正行	建築設計/設備計画	株式会社福永設計
岡田 有加	通訳	株式会社翻訳センターパイオニア

資料 2. 調査行程

【基本設計現地調査時】

月 日	行 動
10月22日(水)	成田→パリ
10月23日(木)	パリ→リーブルビル
10月24日(金)	漁業・養殖総局 (DGPA) 表敬、インセプションレポートの説明・協議 森林経済・水利・漁業養殖省大臣表敬
10月25日(土)	計画サイト及び対象水揚地調査
10月26日(日)	団内会議
10月27日(月)	DGPA と詳細調査日程協議 社会条件調査再委託先 (NGO World Promus Gabon) との契約等
10月28日(火)	DGPA と社会条件調査アンケート内容協議等
10月29日(水)	DGPA 副局長と実施機関・要請内容等の確認 自然条件調査再委託先 (BATOPE) との契約等
10月30日(木)	社会条件調査員に対する調査要領の説明・指導等
10月31日(金)	ポールジャンティ水産センター調査、社会条件調査開始
11月1日(土)	ランバレネ水産センター調査、波高計設置等
11月2日(日)	ランバレネ水産センター調査、団内会議
11月3日(月)	ジャンエボリにて水揚状況調査、陸上地形調査監理等
11月4日(火)	プチプベル及びグランベルにてステーキホルダー会議出席 サイトインフラ状況調査、オルミにて水揚状況調査等
11月5日(水)	オウエンドにて仲買人聞き取り調査、製氷会社調査等
11月6日(木)	ジャンエボリ及びオルミにてステーキホルダー会議出席等、日本大使館表敬
11月7日(金)	社会条件調査票の中間回収、自然条件調査、機材調達調査等
11月8日(土)	JICA 団員：成田→パリ コンサルタント：社会条件調査票の中間回収、自然条件調査、建設資機材調査等
11月9日(日)	JICA 団員：パリ→リーブルビル コンサルタント：団内会議
11月10日(月)	JICA 団員：日本大使館表敬、DGPA 表敬、MEFEP 副大臣表敬 DGPA 主催の関係省庁合同会議、オルミ水揚場及び計画サイト調査 コンサルタント：EIA 手続き調査、環境省・DGPA と計画サイト視察等
11月11日(火)	JICA 団員：DGPA と本計画に関する協議 コンサルタント：市内魚市場調査、建設資材調査、製氷会社調査、気象調査
11月12日(水)	JICA 団員：ジャンエボリ、オウエンド、ポンノンバ水揚場調査 協議議事録案協議 コンサルタント：機材調達調査、製氷会社調査、リーブルビル魚市場調査等
11月13日(木)	JICA 団員：F/S カンゴ実証事業報告会出席、ランバレネへ移動 コンサルタント：オルミ市場聞き取り調査、製氷機メーカー代理店調査等
11月14日(金)	官団員：ランバレネ水産センター調査、リーブルビルへ移動 コンサルタント：水産統計調査、アレキナリ漁民聞き取り調査等
11月15日(土)	JICA 団員：ポールジャンティ水産センター調査 コンサルタント：オウエンド漁民組合調査、波高計引上げ等
11月16日(日)	団内会議
11月17日(月)	JICA 団員：外務大臣表敬、協議議事録案協議等 コンサルタント：ポンノンバ水揚場調査、積算調査、施工計画調査等
11月18日(火)	JICA 団員：アレナキリ、プチプベル水揚場調査、協議議事録署名、 コンサルタント：水産統計調査、品質管理調査、積算調査等 リーブルビル→
11月19日(水)	→パリ パリ→ 竹本、森本：水産統計調査、オウエンド聞き取り調査
11月20日(木)	→成田 竹本、森本：アレナキリ聞き取り調査
11月21日(金)	竹本、森本：リーブルビル市内市場調査
11月22日(土)	竹本、森本：社会条件調査監理

11月23日(日)	竹本、森本：アレナキリ水揚場調査 リーブルビル→
11月24日(月)	竹本、森本：→パリ パリ→
11月25日(火)	竹本、森本：→成田

MEFEPA：森林経済・水利・漁業養殖省 DGPA：漁業・養殖総局

【基本設計概要説明時】

月 日	行 動
3月25日(水)	成田→パリ
3月26日(木)	パリ→リーブルビル
3月27日(金)	漁業・養殖総局(DGPA)表敬、基本設計概要書説明
3月28日(土)	官団員：成田→パリ コンサルト：計画サイト視察、資料整理
3月29日(日)	官団員：パリ→リーブルビル 団内会議
3月30日(月)	大使館表敬 JICA事務所打合せ 森林経済・水利・漁業養殖省表敬 DGPA協議
3月31日(火)	計画省表敬 DGPA協議 計画サイト視察・水揚場視察
4月1日(水)	ポールジョンティ水産センター視察 ミニッツ協議
4月2日(木)	ミニッツ署名 大使館報告 JICA事務所報告 官団員：リーブルビル→
4月3日(金)	官団員：→パリ パリ→ コンサルト：吊り秤単価調査、 リーブルビル→
4月4日(土)	官団員：→成田 コンサルト：→パリ パリ→
4月5日(日)	コンサルト：→成田

資料3. 関係者（面会者）リスト

Ministère de l'Economie Forestière, des Eaux, de la Pêche et de l'Aquaculture

(森林経済・水利・漁業養殖省)

M. Emile DOUMBA	Ministre (大臣)
M. Alexandre BARRO CHAMBRIER	Ministre Délégué (副大臣)
M. Dominique MOUELE	Directeur Général, DGPA (水産・養殖総局長)
M. Guy Anicet RERAMBYATH	Directeur Général Adjoint, DGPA (水産・養殖総局副局長)
M. Jean de Dieu DOUMAMBILA	Directeur des Pêches Artisanales, DGPA (零細漁業部長)
M. Alain Patrick PAMBO	Chef du Centre communautaire de Pêche Artisanale de Port-Gentil, DGPA (ポールジェティー水産センター長)
Ms. Marika MOUNDANGHA	Chef du Centre communautaire de Pêche Artisanale de Lambaréné, DGPA (ランバレネ水産センター長)
M. Liwegha RODRIGUE	Chef du Centre Communautaire de pêche d'Owendo, DGPA (オウエンド水産センター長)
小木曾 盾春	JICA Expert

Ministère des Affaires étrangères, de la Coopération, de la Francophonie et de l'Intégration régionale (外務省)

M. Paul TOUNGUI	Ministre d'Etat (外務大臣)
-----------------	------------------------

Ministère de l'Habitat, de l'Urbanisme et du Cadastre (住宅・都市・土地台帳省)

M. Venant NGUEMA OBIANG	Directeur de l'Urbanisme (都市計画課長)
-------------------------	-----------------------------------

Ministère des Transports de l'Aviation Civile et du Tourisme (運輸空港・観光省)

M. Martin ONDO ELLA	Directeur de la Météorologie Nationale (気象局長)
---------------------	---

Ministère des Travaux Publics, des Infrastructures et de la Construction (公共事業省)

M. Alex Marie KOUMBA MOUSSADJI	Directeur Général de la Construction et de l'Équipement (公共事業局長)
--------------------------------	---

Ministère de l'Environnement durable et de la Protection de la Nature (環境省)

M. Louis Leandre	Directeur Général Adjoint, de l'Environnement et de la Protection de la Nature (環境・自然保護局次長)
------------------	--

Autres organisations concernées (その他関連機関)

M. Jean-pierre OYIBA	Directeur général de l'Office des Ports et Rades du Gabon (OPRAG) (ガボン港湾公社総局長)
M. Francois LAGRANGE	Directeur Général Adjoint de la Société d'Énergie et d'Eau du Gabon (SEEG) (電力・水道公社副局長)
M. Guy-Roger OLLOMO	Ingenieur Charge des Affaires, Bureau Véritas GABON (ビューロベリタス技師)

M. Anicet OLENDE	Directeur Général Adjoint du Gabon Port Management SA(GPM) (ガボン港湾管理会社副社長)
M. Minko Rufin	Association CCPO (Centre Communautaire des Pêches d'Owendo) (オウエンド漁民組合長)
Ms. Asseneome Jeanne	Association Femme Commerçantes de Port Nomba (ボンノンバ漁民組合長)

Sociétés privées concernées (民間会社)

M. Daniel DEPOURTOUX	Responsable Negoce de Sogafric Services (製氷機会社代理店)
M. Edgard MAMFOUMBY	Directeur Général de BATOPE (調査コンサルタント会社社長)
M. MAMAS Abson Gatien	Coodonnateur principal ONG World Promus Gabon (NGO 代表)
M. Eric CAVACAS	NAUTI GABON (ヤマハ船外機代理店)
M. Ernest RANAN	MECA MARINE (船外機修理会社)
M. Migolet JIHAD	Fabricant de glace à Port-Mole (製氷業者)
M. Michel Marine	Fabricant de glace dans le quartier Oloumi (製氷業者)
M. Moussavor	Fabricant de glace au marché Lalala (製氷業者)

Ambassade du Japon au Gabon (在ガボン共和国日本大使館)

加藤 基	特命全権大使
広瀬 真一	一等書記官
山田 重親	専門調査員

JICA/JOCV GABON Office (JICA/JOCV ガボン駐在員事務所)

原田 勝成	駐在員
-------	-----

資料4. 討議議事録 (M/D)

【基本設計現地調査時】

PROCES-VERBAL DES DISCUSSIONS
SUR
L'ETUDE DU CONCEPT DE BASE
POUR
LE PROJET D'AMENAGEMENT
D'UN CENTRE D'APPUI A LA PECHE ARTISANALE
DE LIBREVILLE
EN
REPUBLIQUE GABONAISE

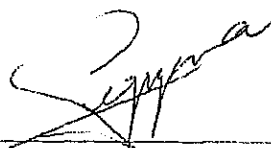
Sur la base des résultats de l'Etude préliminaire, le Gouvernement japonais a décidé d'exécuter l'Etude du concept de base pour le Projet d'aménagement d'un Centre d'Appui à la Pêche Artisanale de Libreville (désigné ci-après "le Projet") et l'a confiée à l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (désignée ci-après "la JICA").

La JICA a délégué au Gabon une mission d'Etude du concept de base (désignée ci-après la Mission) dirigée par M. Shunji SUGIYAMA, conseiller senior de l'Institut pour la Coopération Internationale de la JICA pour la période du 23 octobre au 18 novembre 2008.

La mission a discuté avec les autorités concernées du Gouvernement gabonais et a effectué des études sur place dans le site du Projet.

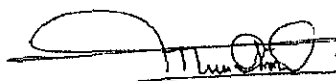
A l'issue des discussions et des études sur place, les deux parties ont confirmé réciproquement les points mentionnés dans le document attaché au présent procès-verbal.

Fait à Libreville, le 18 novembre 2008



Shunji SUGIYAMA

Chef de Mission de l'Etude du concept
de base
Agence Japonaise de Coopération
Internationale (JICA)
Japon



Dominique MOUELE

Directeur Général des Pêches et de
l'Aquaculture
Ministère de l'Economie Forestière, des
Eaux, de la Pêche et de l'Aquaculture
République gabonaise



DOCUMENT ATTACHE

1. Objectif

Les infrastructures de la pêche artisanale de Libreville au Gabon seront aménagées afin de promouvoir le secteur de la pêche artisanale maritime.

2. Zone cible et le site du Projet

La zone cible est la ville de Libreville et ses alentours. Le site du Projet correspond à l'aire indiquée dans l'Annexe-1.

3. Organisme de tutelle et organisme d'exécution

(1) L'organisme de tutelle est le Ministère de l'Economie forestière, des Eaux, de la Pêche et de l'Aquaculture.

(2) L'organisme d'exécution est la Direction Générale des Pêches et de l'Aquaculture dudit Ministère.

4. Contenu de la requête du Gouvernement gabonais

Suite aux discussions avec la Mission, la Partie gabonaise a formulé la requête dont les éléments énumérés en ordre de priorité sont indiqués dans l'Annexe-2. La JICA évaluera par la suite la pertinence du contenu de cette requête et le rapportera au Gouvernement japonais.

5. Système de l'aide financière non-remboursable du Japon

La Mission a expliqué de nouveau à la Partie gabonaise le système de l'aide financière non-remboursable du Japon indiqué en Annexe du procès-verbal des discussions sur l'Etude préliminaire signé le 18 juin 2008. La Partie gabonaise a pris bonne note du contenu dudit système.

La Mission a indiqué à la Partie gabonaise que quelques modifications du système de l'aide financière non-remboursable du Japon sont en cours d'examen et que la Mission d'explication du projet de rapport abrégé de l'Etude du concept de base informera la Partie gabonaise lors de sa visite au Gabon prévue au mois de mars 2009.

6. Programme ultérieur de l'étude

(1) La JICA établira un Rapport abrégé de l'Etude du concept de base en français. Elle expliquera le contenu dudit Rapport à la Partie gabonaise au mois de mars 2009.

(2) Au cas où la Partie gabonaise donnerait son approbation pour le contenu du Rapport abrégé, la JICA établira le Rapport final et le transmettra au Gouvernement gabonais vers mai 2009.

7. Autres points concernés

(1) Programme de développement des pêches artisanales

La Partie gabonaise a expliqué qu'un programme pour le développement de la pêche artisanale à Libreville et dans les alentours est en examen. La Mission a proposé à la Partie gabonaise que compte tenu de la nécessité d'aménager des installations de transformation des produits de pêche par fumage qui ne seront pas intégrées dans le présent projet, il est nécessaire que la Partie gabonaise planifie et réalise rapidement ce programme.

(2) Programme de développement pour les installations relatives à la pêche dans les alentours du Projet

La Partie gabonaise a prévu de construire dans les alentours du Projet, un Centre de Metiers de la Pêche et de l'Aquaculture ainsi qu'un Service de la Qualité et des Inspections Sanitaires.

(3) Gestion, entretien et maintenance des installations et équipements

La Partie gabonaise a présenté un projet d'organigramme de gestion du futur centre du présent Projet comme le montre l'Annexe-3 et s'est engagée à mettre en place la même organisation avant l'achèvement de la construction.

La Partie gabonaise a expliqué que le système de gestion des installations du présent Projet repose sur l'autonomie financière. Cependant en cas de déficit, la Direction Générale des pêches et de l'Aquaculture apportera un soutien financier grâce au fonds de contrepartie prévu dans le budget d'Etat.

La Mission a demandé à la Partie gabonaise d'affecter un fonds correspondant à un minimum de 10 % des revenus du futur centre dans un compte spécial. Ces frais permettront d'assurer le renouvellement des installations et équipements dudit centre. La Mission a obtenu le consentement de la Partie gabonaise.

En outre, la Partie gabonaise s'est engagée à prendre en charge des mesures nécessaires au cas où l'ensablement et l'érosion se produiraient sur la plage et les environs du site du Projet après son exécution.

(4) Autorisations nécessaires aux travaux

La Partie gabonaise a indiqué que conformément aux lois et règlements en vigueur, les autorisations nécessaires aux travaux de construction et d'empiètement dans le Domaine Public Maritime (DPM) sont délivrées par les administrations compétentes, à savoir le Ministère de l'Urbanisme et du Cadastre et le Ministère de Marine Marchande et des Equipements Portuaires.

La Partie gabonaise s'est engagée à obtenir et à transmettre au bureau de la JICA-JOCV au Gabon l'autorisation d'empiètement dans le DPM avant fin mai 2009.

La Partie gabonaise a présenté à la Mission le Décret portant affectation du terrain au Projet, le document afférent est joint en annexe 5.

Quant à l'autorisation de construire, ainsi que toutes les procédures administratives nécessaires aux travaux de construction sont sous la responsabilité de la Partie gabonaise. Les documents y relatifs seront obtenus et transmis au bureau de la JICA-JOCV au Gabon avant l'avis d'appel d'offres du présent projet.

(5) Evaluation d'Impact sur l'Environnement (EIE)

La Partie gabonaise a indiqué que conformément aux lois et règlements en vigueur, les procédures sur l'Evaluation d'Impact sur l'Environnement relatives au présent projet ont été entamées. La Partie gabonaise s'est engagée à les effectuer à sa charge et à obtenir toutes les autorisations nécessaires, ensuite à transmettre au bureau de la JICA-JOCV au Gabon les résultats de celles-ci avant fin mai 2009.

(6) Aménagement des infrastructures de base

La Partie gabonaise s'est engagée à réaliser la clôture et à terminer l'aménagement des infrastructures de base telles que l'adduction d'eau, l'extension des réseaux d'électricité et de téléphone, etc. jusqu'au site avant l'achèvement des installations du présent projet.

(7) Prise en charge des frais relatifs au contrôle des travaux par la Partie gabonaise

Conformément aux lois et règlements en vigueur, la Partie gabonaise a précisé que le contrôle

des travaux du présent projet sera réalisé par le Ministère des Travaux Publics et que tous les frais nécessaires y relatifs seront à sa charge.

(8) Réunions des parties prenantes

Suite à l'étude préliminaire effectuée en mai- juin 2008, la Partie gabonaise a indiqué que plusieurs réunions des parties prenantes se sont tenues. Les procès-verbaux desdites réunions sont présentés dans l'Annexe-4.

En outre de celles-ci, la Partie gabonaise s'est engagée à ouvrir une autre réunion des parties prenantes d'Owendo, de Pont Nomba et d'Alénakiri et présentera au bureau de la JICA-JOCV au Gabon son procès-verbal avant fin novembre 2008.

(9) Voie d'accès au site du Projet

La Partie gabonaise s'est engagée à aménager la voie d'accès menant au site du Projet.

A la demande de la Mission, la Partie gabonaise s'est engagée à présenter au bureau de la JICA-JOCV au Gabon les documents relatifs au droit de passage de la voie d'accès du Projet avant fin novembre 2008.

Tout en intégrant la vision de développement des activités du futur centre, la Mission a indiqué à la Partie gabonaise de prendre en compte cet aspect et de préconiser la création d'une seconde voie d'accès.

Annexe - 1 : Plan du site du Projet

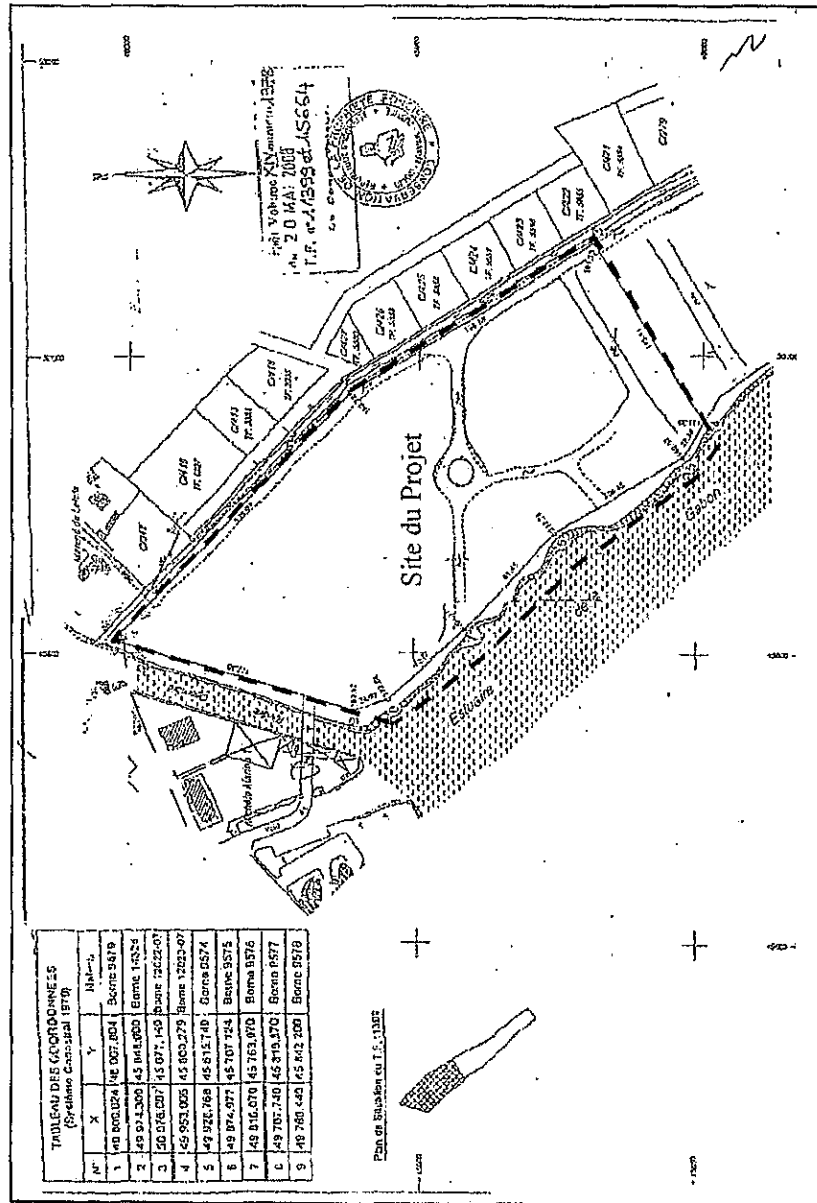
Annexe - 2 : Contenu de la requête du gouvernement gabonais

Annexe - 3 : Organigramme de gestion et d'entretien des installations et équipements

Annexe - 4 : Procès-verbaux des parties prenantes

Annexe - 5 : Décret portant affectation au Ministère en charge de l'Economie Forestière, des

Eaux et de la Pêche, d'un terrain urbain situé à Libreville parcelle n°02 section CA1, objet du Titre Foncier n° 15664



Plan du site du Projet

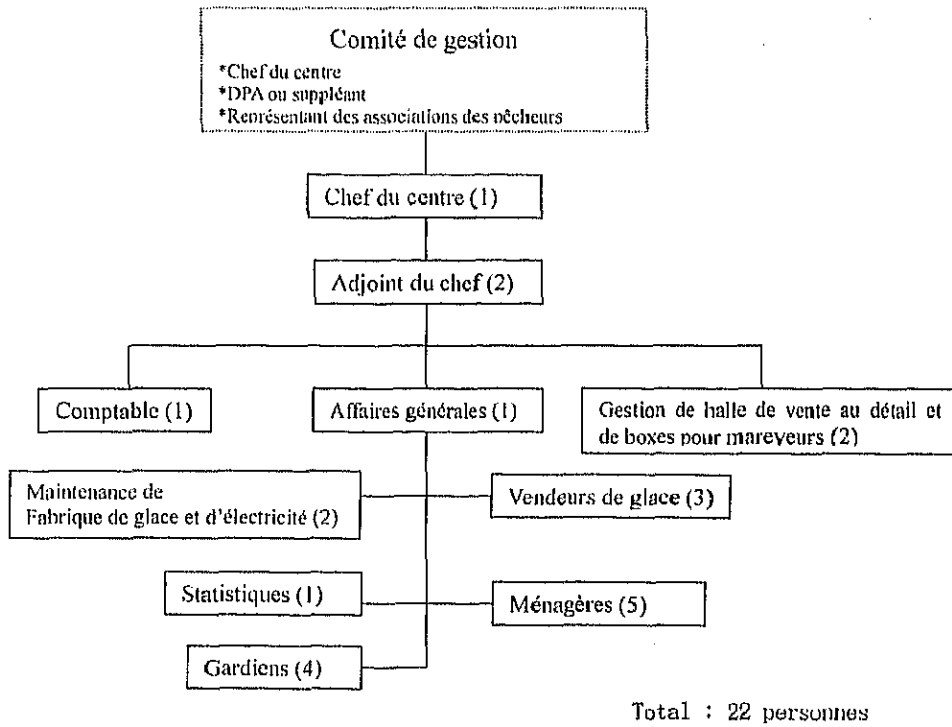
Contenu de la requête du gouvernement gabonais

Première priorité

Contenu		Remarques
Bâtiments		
	Bâtiments administratif multi usages	-bureaux administratifs -salles de réunions/formation -bibliothèque/archives -magasin -cantine - toilettes
	Atelier mécanique de réparation des moteurs hors-bords	
	Halle de transaction en gros et au détail	
	Salle d'inspection de contrôle de qualité	
	Zone de transformation des produits de pêche	-magasin de stockage des produits -zone d'écaillage et nettoyage des produits pour les mareyeurs -aire de transformation de salage/séchage
	Aires de repos pour utilisateurs des installations	
	Boxes pour mareyeurs	
	Zone d'écaillage et nettoyage des produits de pêche pour les détaillants	
	Toilettes publiques	
	Salle des machines	
Génie civil		
	Quai de débarquement des produits	
	Protection de rivage	
	Travaux extérieurs (parking, canalisation, égouts, etc.)	
Equipements		
	Fabrique de glace	
	Matériels pour conservation des produits de pêche	
	Equipements et matériels pour l'atelier mécanique	
	Equipements de manutention (glace, débarquement, transformation, etc.)	
	Equipements et matériels de contrôle de qualité	
	Balance	

Seconde priorité

Contenu		Remarques
Bâtiment		
	Local de vente de matériel de pêche	
Génie civil		
	Cale de halage /slipway destiné à la réparation des pirogues	



Organigramme de gestion et d'entretien des installations et équipements

Procès-verbaux des réunions des parties prenantes

MINISTÈRE DE L'ÉCONOMIE FORESTIÈRE, DES EAUX,
DE LA PÊCHE ET DE L'AQUACULTURE

REPUBLIQUE GABONAISE
Union - Travail - Justice

SECRETARIAT GÉNÉRAL

DIRECTION GÉNÉRALE DES PÊCHES
ET DE L'AQUACULTURE

DIRECTION DES PÊCHES ARTISANALES

B.P. 9498 Tél. 76 80 07 Fax : 76.46.02
Libreville (Gabon)

Procès verbal

Projet d'aménagement d'un pôle de développement économique de la pêche artisanale de Libreville.

Lundi 11 Août 2008 à 11 heures s'est tenu, à l'église de petite poubelle, une rencontre de concertation sur l'aménagement du centre d'appui à la pêche artisanale de Libreville. Cette réunion a permis à la DGPA qui l'a organisée de sensibiliser les pêcheurs sur l'importance et les missions du nouveau centre de pêche artisanale de Lalala et de s'assurer de leur adhésion à ce projet.

Étaient présent à cette rencontre : voir liste de présence jointe à ce document.

La rencontre de ce jour était axée sur les points suivants :

- Présentation du projet.
- Mot du chef de la communauté des pêcheurs de petite poubelle.
- Échanges et discussion.

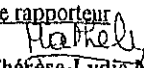
Les acteurs du secteur de la pêche ont donné leur avis favorable quant à la mise en place effective de ce centre et leur participation à la réussite des activités de ce dernier. Mais au-delà de toutes leurs attentes, ils ont fait des propositions sur les trois préoccupations :

- Lieu d'accostage des embarcations après débarquements des produits de la pêche,
- Fournir de la glace en quantité et en qualité
- Les lieux de fumage.

C'est à 13 heures que le Directeur Général Adjoint a levé la séance.

Fait à Libreville le 11 Août 2008

Le rapporteur


Thérèse-Lydie MAGANDJI

LISTE DE PRESENCE

ATELIER DE PRESENTATION DU PROJET DE CONSTRUCTION DU CENTRE COMMUNAUTAIRE DES PÊCHES
ARTISANALES DE LIBREVILLE

Date: 11-08-08

Lieu: Poubelle

N°	Noms et prénoms	fonction	Administration	Débarcadère	Téléphone	E-mail
01	PERAHAYATI G. AMUCOF	DGA	DGPA			
02	DOUMAHISILA J. DO	DPA	DGPA		07 72 93 62	
03	MBADINGA HENRIETTE		DGPA		07 33 32 20	
04	LAGBOUGH CAROL	C.S.P.C	DGPA		06 95 15 87	
05	HAGANDY T. LYDIE	AGENT	DGPA			
06	EMANE ENGOUSOU AUGUSTE	AGENT	DGPA			
07	TBINIA IBINGA GILBAIN	ASST. DPA	DGPA			
08	DETEL	Pecheur		Poubelle Poubelle	07 05 24 21	
09	KESTI	Pecheur		Poubelle Poubelle	04 49 22 16	
10	GODWINE	Pecheur		Poubelle Poubelle	07 80 25 23	
11	ADE TIOUA	Pecheur		Grand Poubelle	07 17 97 33	
12	SEFA	Pecheur		Grand Poubelle	07 71 15 84	
13	LADY ANOYELE	Pecheur		Grand Poubelle	07 12 41 93	
14	OTOGOLE RAPHAEL	Chef communautaire		Grand Poubelle	07 46 62 13	
15	COOL ATEL	Pecheur		Grand Poubelle	07 84 74 44	
16	KATER	Pecheur		Poubelle Poubelle	07 85 69 75	
17	EZEKIEL	Pecheur		Poubelle Poubelle	07 44 28 87	
18	BAYO OPEYENI	Pecheur		SODUCO	07 82 75 91	
19	BARAKOUNA OLAVI	Pecheur		Poubelle Poubelle	07 29 82 81	
20	TUNDE	Pecheur		SODUCO	07 82 99 90	
21	OBASSANBO	Pecheur		Grand Poubelle	07 83 58 49	
22	MOUZE YOUSSEUF	Pecheur		Poubelle Poubelle	07 72 64 99	
23		Pecheur		Poubelle Poubelle	07 81 99 73	

Handwritten signature or initials.

23	ELI ASSAT				
24	CONSELLER JOLANI	Polisi			
25	EDENETER	Polisi			
26	RENJIDA TOPHUS	Polisi			
27	ALEX				
28	ENOLT ANOOLE	CHP			
29	RAMALA WURDIA				
30	ISMAILAWI MARGARIT				
31	TAMUD BARRISER				
32	AKHOSIBON OMALASYO				
33	BEWALDI MURAYO				
34	EMALIA OLAKODE				
35	EMUPENE AYOLELI				
36	BURKULELE OMAMWIMU				
37	OMAFIWA WILUDIA				
38	IFACUN YEMIES				
39	BURKULELE CECILIA				
40	EFICAN RERLUNE				
41	AYZENI RENGAL				
42	ATABA RUSBY				
43	OUEGOMU BELGODA				
44	OYENOMN BEGATSE				
45	COMLAW A TUNRU				
46	AKUNTOYE VEGOLLA				
47	ENITUBONGHIN BEBUNU				
48	EFICAN AROBU				
49	ADRIAN OMULEM				
50	EFICAN CECILIA				
51	BRAGO MAFIWA				
52	ELYENAR EYAK				
53	AKHOSIBON LELA				

Handwritten mark or signature.

52

LISTE DE PRESENCE

ATELIER DE PRESENTATION DU PROJET DE CONSTRUCTION DU CENTRE COMMUNAUTAIRE DES PÊCHES
ARTISANALES DE LIBREVILLE

Date: 14 - 08 - 08

Lieu: Pont-Nomba

N°	Noms et prénoms	fonction	Administration	Débarcadère	Téléphone	E-mail
1	BEKAMBIATH ANICEI	DGA	DGA			
2	DOUMAROTLA B. Jean & Nino	DPA	DPA			
3	IBADINNA HENRI		DPA			
4	TEABOUHE Camel B.	Chef Service	DPA			
5	MOUTENDI Améd	Directeur Ext.	DPA			
6	E. NANE E. Ange	Ag. DPA	DPA			
7	NAGANDI T. Lydie	Ag. DPA	DPA			
8	IBINCA IERINGE Béné	Ag. DPA	DPA			
9	LIWEAA Rodrigue	Ag. DPA	DPA			
10	ALLI Patrice	Ag. DPA	DPA			
11	TOLEFFON	Ag. DPA	DPA	Pt. Nomba		PT. 28.62.94
12	KOMPASS DOSSA Rôpobut	Ag. DPA	DPA	Pt. Nomba		
13	KROSSAYO AKEAOYE	Ag. DPA	DPA	Pt. Nomba		07.44.76.73
14	ALETIE NIMBOA	Ag. DPA	DPA	Pt. Nomba		07.25.55.16
15	MAXIA EATO	Ag. DPA	DPA	Pt. Nomba		07.22.54.19
16	AKEROLE DTD KENNE	Ag. DPA	DPA	Pt. Nomba		07.22.59.87
17	AYS TOBA SUNNAY	Ag. DPA	DPA	Pt. Nomba		
18	KUYONINE TAYEPO	Ag. DPA	DPA	Pt. Nomba		
19	ALETIE ABASSA	Ag. DPA	DPA	Pt. Nomba		
20	TUNDE HERAYO	Ag. DPA	DPA	Pt. Nomba		
21	TOMDAY	Ag. DPA	DPA	Pt. Nomba		
22	EDOUY AYE TOBA	Ag. DPA	DPA	Pt. Nomba		07.58.93.74

fi

SECRETARIAT GÉNÉRAL

DIRECTION GÉNÉRALE DES PÊCHES
ET DE L'AQUACULTURE

DIRECTION DES PÊCHES ARTISANALES

B.P. 9498 Tél. 76 80 07 Fax : 76.46.02
Libreville (Gabon)

Procès verbal

Projet d'aménagement d'un pôle de développement économique de la pêche artisanale de Libreville.

Le mardi 12 Août 2008 à 14 heures, une délégation de la DGPA conduite par le Directeur Général Adjoint s'est rendue à Oloumi, afin de tenir une réunion de concertation avec les acteurs du secteur de la pêche exerçant leurs activités dans cette zone.

La rencontre a eue lieu derrière le marché d'Oloumi.

Étaient présent à cette rencontre : voir liste de présence jointe à ce document.

L'ordre du jour de cette réunion portait sur la présentation du Centre et son importance dans les communautés de pêche et de s'assurer non seulement, que les différents acteurs du secteur des pêches, ciblés par le nouveau centre de pêche, soient informés et sensibilisés sur les opportunités et les changements qu'apporteraient le projet dans leurs activités, mais aussi, de s'assurer de leur adhésion à ce projet.

Cette présentation a été faite par le Directeur Général Adjoint des Pêches et de l'Aquaculture. Les discussions se sont suivies du côté des acteurs qui après acceptation du projet ont émis le vœu d'une collaboration franche entre les différentes parties pour la réussite de ce projet, tout en donnant leur avis sur les points suivants:

- Lieu d'accostage des embarcations après débarquements des produits de la pêche,
- Fourniture de la glace en quantité et en qualité
- Les lieux de fumage.

L'ordre du jour étant épuisé la séance a été levée à 16 heures.

Fait à Libreville le 12 Août 2008

Le rapporteur

Thérèse Lydie MAGANDJI
Thérèse Lydie MAGANDJI

LISTE DE PRESENCE

ATELIER DE PRESENTATION DU PROJET DE CONSTRUCTION DU CENTRE COMMUNAUTAIRE DES PÊCHES
ARTISANALES DE LIBREVILLE

Date: 12-08-08

Lieu: Oloumi

N°	Noms et prénoms	fonction	Administration	Débarcadère	Téléphone	E-mail
1	RABRANIBYATACANICAL	DGPA				
2	DOUHAHSAFA JDD	DGPA				
3	OSSOUCEBA HENTZUEHE	DGPA				
4	IGBEUCHEH LANGE	DGPA				
5	EHANE ANGE	DGPA				
6	LAHANGY JAGRE-LYDE	DGPA				
7	IBINCO GUSLAN	DGPA				
8	OGASSO TAP HERR	DGPA				
9	NY Ammand YOUTAN	DGPB				
10	NISSO					
11	TANATHAN FORGIVE	Pêcheur		Oloumi	07524747	
12	Alphonse FROICH	Commis		Oloumi	07963003	
13	BILLY BILIBBO	Pêcheur		Aloumi	07127064	
14	ALONASSOR COULANVE	Pêcheur		Oloumi	06777233	
15	TEVI KOBO NATHÉ	Pêcheur		Oloumi	07585488	
16	KIMPAVO HAKALE	Pêcheur		Oloumi	07982326	
17	OTANCHER EMMANUEL NATE	Pêcheur		Oloumi	07916589	
18	ASKEPANE COATO ENMANA	Pêcheur		Oloumi	07650191	
19	ATTIOSABI COFFI JUSTE	Pêcheur		Oloumi	07121666	
20	AREKPLENOU EKLOU	Pêcheur		Oloumi	07957518	
21	BILICHOE ANAHOUE	Président		Oloumi		
22	BIFANE TOITANE	Commis		Oloumi	07963610	

SECRETARIAT GÉNÉRAL

DIRECTION GÉNÉRALE DES PÊCHES
ET DE L'AQUACULTURE

DIRECTION DES PÊCHES ARTISANALES

B.P. 9498 Tél. 76 80 07 Fax : 76.46.02
Libreville (Gabon)

Procès verbal

Projet d'aménagement d'un pôle de développement économique de la pêche artisanale de Libreville

Lundi 25 Août 2008 à 10 heures une délégation de la Direction Générale des Pêches et de l'Aquaculture s'est rendue au centre Communautaire d'Owendo pour une séance de travail sur l'aménagement du nouveau centre de pêche d'Oloumi. Étaient conviés à cette rencontre tous les débarcadères concernés par le projet.

Étaient présents à cette réunion: voir liste de présence jointe à ce document.

L'ordre du jour portait essentiellement sur :

- o une concertation commune entre la DGPA et acteurs de la pêche dans le cadre de la mise en place et l'aménagement d'un pôle de développement économique de la Pêche Artisanale. Cette réunion consistait à expliquer et à orienter ces derniers sur les opportunités d'un centre à Oloumi.
- o Cette rencontre de toutes les parties prenantes du projet était également une plate forme de discussion et d'information de l'état actuel du projet.
- o C'était enfin, le lieu pour trouver un consensus avec les acteurs du secteur bénéficiaires du projet.

Les participants ont donc, à la fin, accepté le projet dans son ensemble, car ils pensent que l'idée est louable et ce projet améliorerait leurs moyens d'existence.

C'est à 13 heures que la séance a été levée avec la promesse que les différents acteurs se retrouveraient entre eux pour une réunion de concertation afin d'apporter à la DGPA des informations et suggestions qui pourraient constituer un outil d'aider à la décision pour les pouvoirs publics.

Fait à Libreville le, 26 Août 2008

Le rapporteur

Thérèse-Lydie

Thérèse-Lydie MAGANDJI

Sij

[Signature]

Si

LISTE DE PRESENCE

ATELIER DE PRESENTATION DU PROJET DE CONSTRUCTION DU CENTRE COMMUNAUTAIRE DES PÊCHES
ARTISANALES DE LIBREVILLE

Date: 25/08/06

Lieu:

N°	Noms et prénoms	fonction	Administration	Débarcadère	Téléphone	E-mail
1	AYODELE-F. EMOLA			P. H. Libreville	07942844	
2	OU ARMAND NG. (FR)					
3	MAROUNI T. LYDIE					
4	LEONORA VERONICA CHESTIC					
5	ALBUQUERQUE FRANCIS	Pose		PONDE	07291571	
6	AGUIRO S. SAMUEL	PECHER		S. P. P. P. P.	07316965	
7	MESSEDEKY M. YVES			Pont - Nomba	07903928	
8	ALLI PETER	V.P. C.C.P.		Pont Nomba	0734194	
9	RUFIN DINKO	Président C.C.P.		Centre artisanal	0671446	
10	ATTISSÉ	ALPH-olomni			06050804	
11	TONNINIAN FORGIVÉ	chef			075222747	
12	TEOMAR ASSENIGNE	chef d'ouvrage		Ponzeville	078830-07	
13	KOUASSI DASSA RIGOLTEUR	chef d'ouvrage		talata 2 km	05329665	
14	BOUSSOUYER YVES	chef de chantier		Pont Nomba	07599604	
15	AKUNTINMENTIN JANNETANO	pecheur		Pont Nomba	07808913	
16	ALABI BRNDSE	chef pecheur		Pont Nomba	07402568	
17	SENE INQUIET Stalla	volontaire pecheur		Pont Nomba	07-51-52-02	
18	ANGARADA RIKOAL Roger	pecheur		Libreville	07-57-35-85	
19	SAMSON MAXIME	pecheur		Libreville	07734902	
20	NEZ BERNARDIN	pecheur		Libreville		
21	SAMBLUC ENRIQUINO	pecheur		P. Pubelle	07432608	
22	OBADIA SILON	pecheur		P. Pubelle	07434866	

Si

2

No	NAMES	Heads	HT	RESIDENTS	ICL/STATION
23	OXFORDS	CONMERCANT			
24	KANISA FIDIA	PECHUR			06249241
25	TAVE	PECHUR			06-27-8028
26	MARKSAD-EMMONS	PECHUR			06-27-8028
27	REMY	PECHUR			06-27-8028
28	EKELA	PECHUR			06-27-8028
29	LABELE JOSEPH	PECHUR			06-27-8028
30	EVITT FERDIN	PECHUR			06-27-8028
31	MSC. FERRICO				
32	ENOLA				
33	MARSHALL				
34	JUSTICE ERIKSON				
35	KUNNANG HAHINE				
36	ALONASSAR GUILTY C				
37	AMERPELNU GODSIA				
38	EUBENEZER ANTONIOMI				
39	ELPHUS TANGLAWI				
40	GARDI CARLO				
41	RODRIGUE SIADIA KUS				
42	ELER				
43	Blanche				
44	MICHAEL ASIMAH				
45	ALMITE TWINE				
46	GODWIN				
47	MILKELAN AKIMBI				
48	VILJANA ANI TONAL				
49	Hegbenya ANTONI				
50	VIAVONI FULBERT				
51	PHILIP				

2

2

ID	NAME	STATUS	ADDRESS	PHONE	DATE
56	Shadrack C. S.	Perneur			07-90-5322
57	Clara J. Jones	Perneur			
58	Clara J. Jones	Perneur			
59	Clara J. Jones	Perneur			
60	Clara J. Jones	Perneur			
61	Clara J. Jones	Perneur			
62	Clara J. Jones	Perneur			
63	Clara J. Jones	Perneur			
64	Clara J. Jones	Perneur			
65	Clara J. Jones	Perneur			
66	Clara J. Jones	Perneur			
67	Clara J. Jones	Perneur			
68	Clara J. Jones	Perneur			
69	Clara J. Jones	Perneur			
70	Clara J. Jones	Perneur			
71	Clara J. Jones	Perneur			
72	Clara J. Jones	Perneur			
73	Clara J. Jones	Perneur			
74	Clara J. Jones	Perneur			
75	Clara J. Jones	Perneur			
76	Clara J. Jones	Perneur			
77	Clara J. Jones	Perneur			
78	Clara J. Jones	Perneur			
79	Clara J. Jones	Perneur			
80	Clara J. Jones	Perneur			
81	Clara J. Jones	Perneur			
82	Clara J. Jones	Perneur			
83	Clara J. Jones	Perneur			

2

SECRETARIAT GÉNÉRAL

DIRECTION GÉNÉRALE DES PÊCHES
ET DE L'AQUACULTURE

DIRECTION DES PÊCHES ARTISANALES

B.P. 9498 Tel. 76 80 07 Fax : 76 46 02
Libreville (Gabon)

Procès verbal

Projet de construction d'un centre d'appui à la pêche artisanale de Libreville.

Le mardi 04 novembre 2008 à 16 heures, une délégation, conjointe Direction Générale des Pêches et de l'Aquaculture et la coopération japonaise, s'est rendue à petite poubelle, afin de tenir une réunion de concertation avec les acteurs du secteur de la pêche exerçant leurs activités dans la zone de petite poubelle et grande poubelle.

La rencontre a eut lieu à l'église de petite poubelle en présence de nombreux pêcheurs (voir la liste de présence en annexe).

Le but de la réunion était pour la délégation de s'enquérir du niveau d'acceptation des acteurs de la pêche sur l'utilisation qu'ils attendent faire du centre. Il était aussi question lors de cette rencontre de donner les directives que la DGPA compte donner aux sites de débarquement précédemment cités et, apporter des éclaircissements à la situation de parcage de pirogue ainsi qu'aux activités de fumage.

Étaient présent à cette rencontre : voir liste de présence jointe à ce document.

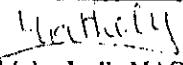
Suite à la présentation du Directeur des pêches Artisanales, les pêcheurs ont à leur tour pris la parole pour exprimer leur adhésion totale à ce projet mais, à cette situation ils pose les problèmes suivants :

- Problème du remplacement monofilament qui n'est pas favorable aux pêcheurs.
- Les lieux de fumage et la nécessité d'acquérir une parcelle afin d'ériger un village de pêcheur où ils ne seront plus déguerpis.

L'ordre du jour étant épuisé la séance a été levé à 17 heures.

Fait à Libreville le 04 novembre 2008

Le rapporteur


Thérèse-Lydie MAGANDJI

[Handwritten mark]

FICHE DE PRESENCE

ATELIER D'AMENAGEMENT D'UN CENTRE D'APPUI A LA PÊCHE ARTISANALE DE LIBREVILLE

Date: 04-11-2008

Lieu: Petite-poubelle

N°	Noms et prénoms	fonction	Téléphones
1	Christi Felu Emacla		
2	Claret Ebeusem Mafeleem	Pêche	07 83 04 23
3	MR. BERNARD - MARTEJE	PÊCHEUR	07.47.81-72
4.	MR. AMOLOLA - EFOIAN	-	07.29.08.75
5.	MR. EGANSI - EMILA	✓	07-87-90-50
6.	MR. TAPINC - EMUPÈNE	✓	07-81-54-77
7	MR. JOUNEN - IKUMEHINLO	✓	07-27-74-86
8	MR. FESTUS - EFOIAN	✓	07-14-63-88
9	MR. SEYI - ATENI	✓	07-38-08-40
10.	MR. OBASCO - OUESIFU	✓	07-72-64-99
11.	MR. KIEBU - FOMOLAWI	-	07-44-88-82
12.	MR. ANNINGO - ATONDIKEF	✓	07-02-81-23
13.	MR. MISE - AIDEMUNAGUN	✓	07-18-70-28
14.	MR. ISREAL - EFOIAN	✓	-

[Handwritten mark]

82

No	MANDAT/CONTO/UNLE	FIGURE	
16	HER SUPULERE-EMMANUEL	✓	07-06-86-28
17	BIDENI-EREJUKA	✓	
18	SANI-ERUKUBANI	✓	07-13-26-08
19	ATINJE-ASHOGBEN	✓	07-16-15-86
20	TIFE-ILISANMI	✓	07-27-78-46
21	HERA ALAREYAN-ADEYEMI	✓	05-22-89-59
22	KELE-OBINUSI	✓	07-87-27-42
23	OYE-EFCIAN	✓	07-57-71-32
24	YIDE ✓	✓	07-76-74-20
25	DANI ✓	✓	07-17-12-87
26	EMA-BEKALE	✓	07-88-24-26
27	ABATONI-ASHOGBEN	✓	07-84-81-61
28	ISE-IBIMONI	✓	07-90-39-18
29	BATO-EMOLA	✓	-
30	SOLA-AHABA	✓	07-32-13-81
31	IBOWU-ARITO	✓	07-87-83-76
32	KEHINDE -AZI	✓	07-68-68-19
33	JANIS-OTUNILIN	07-87-20-97	
34	OMONIKE-ADENUNIASUN-GBALELE	07-98-15-86	SEMI

82

40.

35	BANKU-COMGIANIZ	PECHEUR	07-89-25-19
36	FRANCIS-ELEBTIU	✓	07-81-45-87
37	MICHEL-OBATELE	✓	07-47-50-61
38	SAMEDI-NEIO	✓	07-41-87-82
39	DARLINTY-GIOMO	✓	05-06-85-04
40	SAMER-DOMITULE-PASTEUR	✓	07-51-89-87
41	KEHINJE-TOUNGAM	✓	07-80-25-59
42	LAJA-AYAZI	✓	07-73-18-87
43	OLUNDE-AKENJINREN	✓	—
44	ANIFONDSE-ENGATRAMEN	✓	07-81-24-71
45	IQOWU-GBALA	✓	—
46	FEMI-OMOTEHINSE	✓	07-81-45-87
47	BAFIH-EMOTARANEN	✓	07-45-02-90
48	DANILUA-ENIKUMETHIN	✓	07-27-77-00
49	SOTI-IRINTEM	✓	07-67-40-84
50			

41.

SECRETARIAT GÉNÉRAL

DIRECTION GÉNÉRALE DES PÊCHES
ET DE L'AQUACULTURE

DIRECTION DES PÊCHES ARTISANALES

B.P. 9498 Tél. 76 80 07 Fax. 76 -66 02
Libreville (Gabon)

Procès verbal

Projet de construction d'un centre d'appui à la pêche artisanale de Libreville.

Le jeudi 06 novembre 2008 à 10 heures, s'est tenue une réunion de concertation sur la plage du site de débarquement de Jeanne Ebori, entre les acteurs de la pêches exerçant leurs activités dans ce site et une délégation de la DGPA conjointement avec les experts japonais.

Était présent à cette réunion (voire liste de présence ci-jointe)

L'ordre du jour portait sur :

- 1- sommaire du centre de Lalala ;
- 2- demande d'adhésion des parties prenantes au projet ;
- 3- vœux des parties prenantes sur certaines unités du centre.

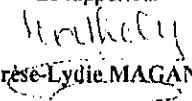
Après la présentation du Directeur des pêches artisanales, les pêcheurs par le canal de monsieur PENDJE a émis la crainte de voir leurs produits surtaxés au centre et aussi de ne pas pouvoir être libre de faire leur commerce comme cela est l'habitude à leur débarcadère. Suite a ce malentendu, car il semblerait que les acteurs du débarcadère de Jeanne Ebori n'avaient pas compris le fonctionnement et le but du centre ; le Directeur a longuement expliqué aux pêcheurs le rôle du centre dans les communautés de pêche.

Ainsi après de multiples explications les parties prenantes de ce site ont finalement compris le bien fondé de cet outil qui va être mis à leur disposition.

L'ordre du jour étant épuisé, la séance a été levée à 11h 45 minutes.

Fait à Libreville le 06 novembre 2008

Le rapporteur


Thérèse-Lydie MAGANDJI

FICHE DE PRESENCE

ATELIER D'AMENAGEMENT D'UN CENTRE D'APPUI A LA PECHÉ ARTISANALE DE LIBREVILLE

Date: 6 novembre 2008

Lieu: Jeanne Eboon

N°	Noms et prénoms	fonction	Téléphones
1	JOSE AGUIARAZ PENUJE	Propriétaire	06 03 30 69
2	EMITZ ERNEST	"	06 23 18 43
3	ANGANDA ROGER	"	07 89 32 85
4	EKELA REMY	"	07 66 11 20
5	MPIRA HILAIR	Pêcheur	07 86 52 59
6	HAMULU SARA D. Diadema	Propriétaire	05 86 74 54
7	IMALET Bessie	Pêcheur	06 19 95 92
8	CHUCHUM ANDRE	Pêcheur	07 80 20 56
9	MARINS Babou	Pêcheur	07 10 38 00
10	MANKOU MARCEL	Pêcheur	07 60 60 75
11	NGUENYA JOSE	Pêcheur	07 54 64 23
12	KOUNDA Barthélemy	Pêcheur	
13	SENG LUGUEBA	Propriétaire	
14	LMAMA S. Claude	Pêcheur	

Procès verbal

Projet de construction d'un centre d'appui à la pêche artisanale
de Libreville.

Le jeudi 06 novembre 2008 à 16 heures, s'est tenue une réunion de concertation derrière le marché d'Oloumi, entre les acteurs de la pêches exerçant leurs activités dans ce site et une délégation de la DGPA conjointement avec les experts japonais. La rencontre a eut lieu derrière le marché d'Oloumi.

Etait présent à cette réunion (voire liste de présence ci-jointe)

L'ordre du jour portait sur :

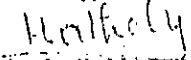
- 1- sommaire du centre de lalala ;
- 2- demande d'adhésion des parties prenantes au projet ;
- 3- trouvé un consensus avec les acteurs du secteur bénéficiaires du projet ;
- 4- orientation de l'exploitation du centre ;
- 5- procédure de l'utilisation ultérieure des cabines de vente des produits de la pêche.

A cela les parties prenantes pêcheurs et marceuses ont montré leur enthousiasme suite à la construction du centre. Ainsi, monsieur ATTISSO a pris la parole au nom de tous et a expliqué à ses congénères les tenants et les aboutissant du présent projet tout en démontrant à ceux-ci qu'ils sont les principaux bénéficiaires étant donné que la réalisation des infrastructures se fera sur leur site de débarquement.

L'ordre du jour étant épuisé, la séance a été levée à 17heures.

Fait à Libreville le 06 novembre 2008

Le rapporteur


Thérèse-Lydie MAGANDJI

ワークショップ 会議参加者名簿

ATELIER DE PRESENTATION DE PROJET DE CONSTRUCTION DU CENTRE COMMUNAUTAIRE DES
PECHES ARTISANALES DE LIBREVILLE

Date: 06.11/2008

Lieu: CICOLOU

	Nome et Prenoms	fonction	Administration	Debardeure	Tel
1	KINHAVO HANULE	Pr. de la	ALPH	Okoumi	01 88 10 30
2	AMARIE NGA EYON	Pr. de la	ALPH	Okoumi	01 78 10 60
3	ATTIENGA NGI JUSTE	Pr. de la	ALPH	Okoumi	01 78 85 67
4	CHADIA NGI MURIL	Pr. de la	-	-	01 63 23 30
5	ELOU ANEUCU	-	-	-	07 72 43 00
6	HYAMU FIBGON	-	-	-	07 72 43 00
7	SELENGE ANANI	-	-	-	07 63 65 50
8	ALOU NGI EYON	-	-	-	07 18 28 00
9	GAH NGI BIL ANANI	-	-	-	07 45 98 94
10	NGI NGI NGI NGI	-	-	-	07 76 91 13
11	NGI NGI NGI NGI	-	-	-	07 76 91 80
12	NGI NGI NGI NGI	-	-	-	07 71 00 35
13	ALAN NGI NGI NGI	-	-	-	07 51 80 00
14	NGI NGI NGI NGI	-	-	-	07 85 80 00
15	ALAN NGI NGI NGI	-	-	-	06 81 11 30
16	NGI NGI NGI NGI	-	-	-	-
17	NGI NGI NGI NGI	-	-	-	-
18	NGI NGI NGI NGI	-	-	-	07 18 75 00
19	NGI NGI NGI NGI	-	-	-	-
20	NGI NGI NGI NGI	-	-	-	07 64 80 00
21	NGI NGI NGI NGI	-	-	-	07 64 80 00
22	KWASHIE, D. CHIEF	Chief Communaire	ALPH	-	07 53 79 00
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					

Décret portant affectation au Ministère en charge de l'Economie Forestière, des Eaux et de la Pêche, d'un terrain urbain situé à Libreville parcelle n°02 section CA1, objet du Titre Foncier n° 15664

DU BUDGET ET DE LA PRIVATISATION

DIRECTION GENERALE DES IMPOTS

DIRECTION DES DOMAINES
ET DES OPERATIONS FONCIERES

0740
DIRECTION DES DOMAINES
ET DES OPERATIONS FONCIERES

NOC:
SPC: 1011CA1002

VISA
CIPR



UNION-TRAVAIL-JUSTICE

DECRET

portant affectation au Ministère en charge de l'Economie Forestière, des Eaux et de la Pêche, d'un terrain urbain situé à Libreville parcelle n°02 section CA1, objet du Titre Foncier n° 15664

LE PRESIDENT DE LA REPUBLIQUE
CHEF DE L'ETAT



VU La Constitution ;
VU le Décret n°001304/PR du 26 décembre 2007 fixant la composition du Gouvernement, ensemble les textes modificatifs subséquents ;
VU le Décret n°080/PR du 07 avril 1966 fixant les attributions du Premier Ministre et notamment en son article 13 ;
VU le Décret n°77/PR/ME.FE du 6 février 1967 réglementant l'octroi des concessions et locations des terres domaniales et les textes modificatifs subséquents ;
VU la Convention d'achat d'un terrain urbain n°00001/ME.FE/P/OGI/DDOF en date du 21 Mars 2008 ;
Sur le Rapport du Ministre d'Etat, Ministre de l'Economie, des Finances, du Budget et de la Privatisation ;

LE CONSEIL DES MINISTRES ENTENDU ;

DECRETE :

ARTICLE 1^{er} : Est affecté au Ministère en charge de l'Economie Forestière, des Eaux et de la Pêche un terrain urbain formant la parcelle n°02 de la section CA1 du plan cadastral de Libreville, objet du Titre Foncier n° 15664.

ARTICLE 2 : Le terrain objet de la présente affectation, est destiné à recevoir la construction d'un pôle de développement économique intégré à la pêche artisanale. Toute autre utilisation entraînera l'annulation du présent décret.

ARTICLE 3 : Le présent Décret sera enregistré, publié et communiqué partout où besoin sera. /-

Fait à Libreville, le 08 SEP. 2008

Par Le Président de la République
Le Ministre d'Etat, Ministre de
l'Economie, des Finances, du Budget
et de la Privatisation

Paul TOUNGUI

Par Le Président de la République,
Chef de l'Etat
Le Premier Ministre,
Chef du Gouvernement



Visé pour timbre et enregistré gratis

A LIBREVILLE GABON

Le 30 OCT. 2008

Vol. 14, Folio 520, No. 1353

(仮訳)

ガボン共和国リーブルビル零細漁業支援センター建設計画基本設計調査
協議議事録

予備調査の結果に基づき、日本国政府はリーブルビル零細漁業支援センター建設計画(以下、「プロジェクト」)に係る基本設計調査の実施を決定し、同調査の実施を独立行政法人国際協力機構(JICA)に委託した。

JICAは、JICA国際協力専門員 杉山俊士を団長とする基本設計調査団(以下、「調査団」)を、2008年10月23日から11月18日にかけてガボン共和国(以下、「ガ」国)へ派遣した。同調査団は、「ガ」国政府関係者との協議を行うとともに、計画サイトでの調査を実施した。上記協議及びサイト調査の結果、両者は付属書に記載した事項について合意した。

リーブルビル、2008年11月18日

杉山 俊士
基本設計調査団長
独立行政法人国際協力機構
日本国

Dominique MOUELE
漁業・養殖総局長
森林経済・水利・漁業・養殖省
ガボン共和国

付属書

1. 目的

零細漁業振興のために「ガ」国リーブルビルにおける海面零細漁業施設基盤が整備される。

2. プロジェクト計画サイト

プロジェクト計画サイトは別添1の通りとする。

3. 主管官庁及び実施機関

- (1) 主管官庁は森林経済・水利・漁業・養殖省である。
- (2) 実施機関は森林経済・水利・漁業・養殖省漁業・養殖総局である。

4. 「ガ」国政府の要請内容

調査団との協議の結果、「ガ」国側は最終的に別添2の通りのアイテムを優先順位を付した上で要請した。JICA は要請内容の妥当性を評価し、調査結果を日本国政府に報告する。

5. 日本の無償資金協力制度

「ガ」国側は、2008年6月18日付けで署名された予備協議議事録に添付されている日本の無償資金協力制度について、再度調査団からの説明を受け、その内容を理解した。

調査団は、日本の無償資金協力制度に若干の変更が生じる予定であり、変更の内容は2009年3月に派遣される予定の基本設計概要説明調査団により説明がなされる旨、「ガ」国側に伝えた。

6. 今後の予定

- (1) JICA はフランス語で基本設計概要書を作成し、2009年3月に同報告書の内容につき「ガ」国側に説明を行う予定である。
- (2) 基本設計概要書の内容につき、「ガ」国側の基本合意が得られた場合、JICA は基本設計調査報告書を作成し、2009年5月頃に「ガ」国側に送付する予定である。

7. その他の関連事項

(1) 零細漁業振興計画について

「ガ」国側は、リーブルビル市及び近郊の零細漁業振興計画を策定すべく、検討を始めていることを説明した。調査団は、リーブルビル市及び近郊の総合的な零細漁業振興のためには、本プロジェクトでは対象とされない水産物燻製加工関連施設お

よび漁船係留施設の整備が必要であり、「ガ」国側が早期に同計画を策定し、実施する必要があることを提言した。

(2) 計画施設周辺における水産関連施設開発計画について

「ガ」国側は、本計画で整備される施設に隣接して漁業・養殖職業訓練センター及び品質管理衛生検査部を整備予定であることを説明した。

(3) 施設・機材の運営維持管理計画について

「ガ」国側は、本計画施設の運営維持管理組織図案について別添3の通り提示し、同組織は施設完成前に設立することを確約した。

「ガ」国側は、本計画施設の運営体制は独立採算制とするものの、施設運営が赤字となった場合の資金支援は、漁業・養殖総局が行う旨、説明した。

調査団は、本計画施設・機材の減価償却費として、運営収入の最低10%を特別口座に積み立てることを「ガ」国側に求め、「ガ」国側は同内容を了解した。加えて、本プロジェクト実施後に計画サイト前面海浜及び周辺海浜において堆砂・洗掘等が生じた場合は「ガ」国側が責任を持って必要な対応をとることを「ガ」国側に求め、「ガ」国側は同内容を了解した。

(4) 施設建設に必要な許認可について

「ガ」国側は、本プロジェクト実施のために必要な許認可は、「ガ」国の法規制によると、都市計画省による建築許可、港湾省による海洋土木施設に係る許可であることを説明した。また、「ガ」国側は調査団に対し、プロジェクト計画サイト敷地に係る政令を別添5の通り提出した。「ガ」国側は、前述の全ての必要な許認可は「ガ」国側の責任の下に取得し、必要な手続きを全て完了させた上で、海洋土木施設に係る許可は2009年5月末まで、建築許可は本プロジェクトの入札公示前までに同結果をJICA/JOCV ガボン駐在員事務所に報告することを確約した。

(5) 環境影響評価について

「ガ」国側は、同国法規制に則り、本計画実施に係る環境影響評価の手続きを開始したことを説明した。「ガ」国側は、自らの資金により「ガ」国における環境影響評価手続きを行い、本プロジェクト実施のために必要な許可を得た上で、2009年5月末までに同結果をJICA/JOCV ガボン駐在員事務所に報告することを確約した。

(6) 基礎インフラの整備について

「ガ」国側は、計画サイトまでの水道・電気・電話、フェンス等の整備を施設完成前に完了させることを確約した。

(7) 「ガ」国政府による施工監理に係る経費負担について

「ガ」国側は、同国法規制により、本計画施設建設に際しては公共事業省による施工監理が行われる必要があることを説明すると共に、同施工監理に要する経費は「ガ」国側が負担することを確約した。

(8) ステークホルダー協議について

「ガ」国側は、本プロジェクトに係る予備調査が2008年5月～6月に行われた後、複数回のステークホルダー協議を開催した旨、説明するとともに、同協議の議事録を別添4の通り提示した。

これに加え、「ガ」国側は引き続きオウエンド、ポンノンバ、アレナキリを対象としたステークホルダー協議を実施し、同結果を2008年11月末までにJICA/JOCVガボン駐在員事務所に報告することを確約した。

(9) プロジェクトサイトへのアクセス道路について

「ガ」国側は、プロジェクトサイトまでのアクセス道路の整備を「ガ」国側で行うことを確約した。調査団は、プロジェクトサイトのアクセス道路の土地利用権に係る書類を2008年11月末までにJICA/JOCVガボン駐在員事務所に提出することを求め、「ガ」国側は同内容を了解した。

調査団は、本計画施設の将来の発展に係る展望に鑑み、確保済みのアクセス道路の他に、新たなアクセス路を確保することについて、「ガ」国側に提言した。

別添1：計画サイト図

- 2：「ガ」国政府の要請項目
- 3：施設・機材の運営維持管理組織図案
- 4：ステークホルダー協議議事録
- 5：土地登記番号第15664号リーブルビル都市計画地CA1第2区に係る森林経済・水利・漁業・養殖省に関する政令

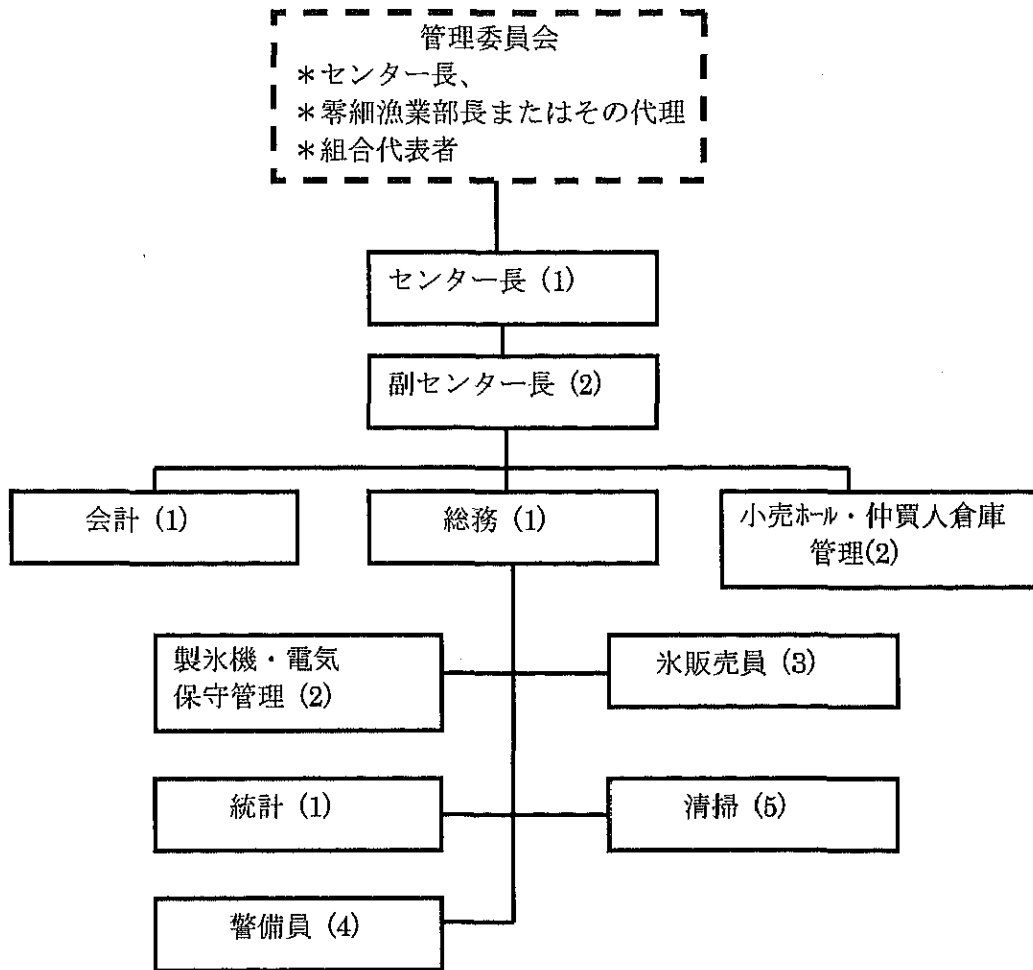
ガボン国政府の要請項目

(優先順位 1 位)

項目	備考
建築施設	
多目的管理事務棟	管理事務室 会議室／研修室 資料室／書庫 倉庫 食堂 便所
船外機保守用の機材修理場	
卸売ホール及び小売ホール	
衛生・品質検査室	
水産加工場	漁獲物貯蔵庫 仲買人向けのウロコ・内臓除去作業場 塩干加工場
施設利用者のための休憩スペース	
仲買人用倉庫	
一般小売人向けのウロコ・内臓除去作業場	
公衆便所	
機械室	
土木施設	
杭式水揚棧橋	
護岸	
外溝工事（駐車場・排水・下水他）	
機材	
製氷機	
鮮魚保冷用機材	
機材修理用の機材・器具一式	
搬送用機材（氷、水揚、加工他）	
品質管理用機材・器具	
計量秤	

(優先順位 2 位)

項目	備考
建築施設	
漁具販売所	
土木施設	
漁船修理用スリップウェイ	



新センター職員数 22名

リーブルビル零細漁業支援センター組織図案

森林経済・水利・漁業養殖省

ガボン共和国

事務局

団結 - 労働 - 正義

水産・養殖総局 零細漁業局

B.P.9498 TEL : 76.80.07 FAX : 76.46.02

リーブルビル (ガボン)

議事録

リーブルヴィル零細漁業経済開発拠点整備計画

2008年8月11日プチプベル教会にて、リーブルビル零細漁業支援センター整備に関する会議が開催された。この会議を主催した DGPA から、漁民に対してラララ零細漁業支援センターの重要性とその目的について説明が行なわれ、本計画に対する漁民からの支持が得られた。

この会議の出席者に関しては、添付の出席者リストを参照のこと。

この日の会議は以下の点を中心として行なわれた：

- ・ 本計画の紹介
- ・ プチプベル漁業コミュニティ長よりの挨拶
- ・ 意見交換および協議

本センターの実効ある設立とその活動が成功するための漁業セクター関係者の参画に対して、関係者からの賛同が得られた。しかしながら彼らの持つ期待以外に、以下の懸念事項が提議された：

- 漁獲物水揚後の漁船の接岸場所
- 量的および質的な氷の提供
- 燻製加工場所

13時に会議の閉会が総局次長より宣言された。

於：リーブルビル 2008年8月11日

報告者

署名 **Thérèse-Lydie MAGANDJI**

森林経済・水利・漁業養殖省

ガボン共和国

事務局

団結 - 労働 - 正義

水産・養殖総局 零細漁業局

B.P.9498 TEL : 76.80.07 FAX : 76.46.02

リーブルビル (ガボン)

議事録

リーブルビル零細漁業経済開発拠点整備計画

2008年8月12日(火)14時にDGPA総局次長を代表とするDGPA一行がオルミに赴き、この地域で活動を行なっている漁業セクター関係者との会議を行なった。

会議はオルミ市場の裏手で開かれた。

この会議の出席者に関しては、添付の出席者リストを参照のこと。

会議の議題は、センターの紹介とコミュニティにおけるその重要性、および新設されるセンターが対象とする漁業セクター関係者への、本計画がもたらすであろう機会と変化についての説明・周知ならびに彼ら関係者からの支持の取り付けであった。

水産・養殖総局次長より本計画の紹介が行なわれ、引き続き、関係者サイドとの協議が行われた。関係者たちは本計画を受け入れ、本計画成功のために全ての関係者が協力することに対して率直な意向が表明されたが、以下の点に関して提議がなされた：

- ・ 漁獲物水揚後の漁船の接岸場所
- ・ 量的および質的な氷の提供
- ・ 燻製加工場所

議題に関して協議が尽くされたため、会議は16時に閉会した。

於：リーブルビル 2008年8月12日

報告者

署名 Thérèse-Lydie MAGANDJI

森林経済・水利・漁業養殖省

ガボン共和国

事務局

団結 - 労働 - 正義

水産・養殖総局 零細漁業局

B.P.9498 TEL : 76.80.07 FAX : 76.46.02

リーブルビル (ガボン)

議事録

リーブルビル零細漁業経済開発拠点整備計画

2008年8月25日(月)10時に水産・養殖総局代表団が、オウェンド・コミュニティセンターに赴き、新たに建設されるオルミ漁業センター整備に関するワークショップを開催した。この会議には本計画に関連する漁業関係者全員が召集された。

この会議の出席者に関しては、添付の出席者リストを参照のこと。

議題は主に以下の点に関するものであった：

- ・ 零細漁業経済開発拠点の設立および整備に関する DGPA と漁業セクター関係者間での共同会議開催。この会議はオルミセンター建設の機会に関する漁業セクター関係者への説明と方向付けにあった。
- ・ 本計画に関連する全てのステークホルダーを集めての会議は同様に本計画に関する現状についての協議および情報提供の場であった。
- ・ そして、最終的に本計画の受益者であるセクター関係者とのコンセンサスを見出す場所となった。

従って参加者全員が最後に本計画を受入れた、というのも彼らは本計画の構想は称賛に値するものであり、セクター関係者の生計手段の改善に資するであろうと考えたからである。

会議は、DGPA が行政官庁として決定を下す際に役立ちうる情報と提案を提供するために、セクター関係者間での別会議開催を約して13時に閉会した。

於：リーブルビル 2008年8月26日

報告者

署名 **Thérèse-Lydie MAGANDJI**

参加者リスト

リーブルビル零細漁業コミュニティセンター建設計画紹介ワークショップ

日付:

場所:

番号	氏名	職業	所属	水揚地	電話番号	メールアドレス
01						
～						
22						

森林経済・水利・漁業養殖省

事務局

水産・養殖総局

零細漁業局

B. P. 9498

TEL : 76. 80. 07 FAX : 76. 46. 02

リーブルビル (ガボン)

ガボン共和国
団結 - 労働 - 正義

議事録

リーブルビル零細漁業支援センター整備計画

2008年11月4日火曜日16時、水産・養殖総局と日本の国際協力の一行がプチプベルに赴き、プチプベル及びグランプベル地域で活動を行っている漁業セクター関係者との会議を行った。

会議は、プチプベルの教会で開催され、多くの漁民が参加した（添付の参加者リストを参照のこと）。

本会議の目的は、期待されるセンター利用に関して漁業関係者にその合意を問うこと。また水産・養殖総局が前述地域で予定していた今後の方針説明をこの機会に行い、漁船の係留や燻製加工活動の状況を明確にすることであった。

本会議の出席者は、添付の参加者リストに記載の通りである。

零細漁業局長の説明後、漁民は本計画に対し全面的支持を表したが、次の様な現状の問題点を述べた：

- モノフィラメントの代替漁具が漁民にとって不都合であるとする問題
- 燻製加工場と、退去を迫られることのない漁村を確立するための土地取得の必要性

議事日程を全て終え、本会議は17時に閉幕した。

於：リーブルビル 2008年11月4日

報告者

署名

Thérèse-Lydie MAGANDJI

森林経済・水利・漁業養殖省

事務局

水産・養殖総局

零細漁業局

B. P. 9498

TEL : 76.80.07 FAX : 76.46.02

リーブルビル (ガボン)

ガボン共和国
団結・労働・正義

議事録

リーブルビル零細漁業支援センター整備計画

2008年11月6日木曜日16時、オルミ市場裏手にて、この地域で活動する漁業関係者、DGPA（水産・養殖総局）代表団、日本の専門家との共同会議が行われた。

本会議出席者に関しては、添付の出席者リストを参照のこと。

議事日程は下記の通り：

1. ラララセンターの概要
2. 本計画への関係者参加の要請
3. 本計画の受益者であるセクター関係者とのコンセンサス
4. センター利用方針
5. 水産製品販売ブースの今後の利用手続き

漁民および仲買人等の関係者は、センター建設に対する歓喜を示した。参加者代表として発言した ATTISO 氏は、本計画を支持し成功させるよう同業仲間に説明するとともに、本計画の施設が彼らの水揚サイトで実現されることから、彼ら自身が主要受益者になると示した。

議事日程を全て終え、会議は17時に閉会した。

於：リーブルビル 2008年11月6日

報告者

署名

Thérèse-Lydie MAGANDJI

森林経済・水利・漁業養殖省

事務局

水産・養殖総局

零細漁業局

B. P. 9498

TEL : 76. 80. 07 FAX : 76. 46. 02

リーブルビル (ガボン)

ガボン共和国
団結 - 労働 - 正義

議事録

リーブルビル零細漁業支援センター整備計画

2008年11月6日10時、ジャンエボリ水揚サイトの海辺にて、この地域で活動する漁業関係者とDGPA(水産・養殖総局)代表団、日本の専門家との共同会議が行われた。本会議出席者に関しては、添付の出席者リストを参照のこと。

議事日程は下記の通り:

1. ラララセンターの概要
2. 本計画への関係者参加の要請
3. センター設備に関する関係者の要望

零細漁業局長からの説明後、漁民は、PENDJE氏を介し、新センターでの製品付加税や、また既存水揚場で慣習的商取引を今後自由に行えなくなることへの懸念を示した。この誤解を受けて、というのもジャンエボリ水揚場の関係者は、センターの機能や目的について理解していなかったようなので、局長は漁業共同体におけるセンターの役割について詳しく説明した。

多方面からの説明を受け、当サイト関係者は最後に、彼ら自身も利用可能な計画施設の根拠を理解した。

議事日程をすべて終え、会議は11時45分に閉会した。

於：リーブルビル 2008年11月6日

報告者

署名

Thérèse-Lydie MAGANDJI

経済・財務・予算省

税務総局

領地・土地利用局

No. 0719 /PR/ MEFBP/DGI/DDOF

NOC :

SPC : 10111CA1002

Visa

CJPR

ガボン共和国
団結 - 労働 - 正義

森林経済・水利・漁業養殖省のリーブルビル
土地区画 No.02-CA1、土地証書 No.15664
の割当に係る

デクレ (政令)

共和国大統領

国家元首

憲法に鑑み、

政府の構成を定める 2007 年 12 月 28 日発効の政令第 001304/PR 号及び後続の修正文書に鑑み、

特に第 10 項に首相権限を定める 1986 年 4 月 7 日発効の政令第 380/PR に鑑み、
土地の委譲付与、国土賃貸借を規定する 1967 年 2 月 6 日発効の政令第 77/PR/MF.DE
及び、後続の修正文書に鑑み、

2008 年 3 月 21 日付、都市計画地の購入契約 No.00001/MEFBP/DGI/DDOF に鑑み、
経済・財務・予算省の報告書に関して、
以下の様に、閣議で合意された

デクレ (政令) :

第 1 項 : 森林経済・水利・漁業養殖省に対し、リーブルビルの土地区画 No.02-CA1、
土地証書 No.15664 を割り当てる

第 2 項 : 本書の対象となる割当地は、零細漁業に総合経済開発拠点の建設を用途とする。
それ以外の本土地利用は、本デクレを無効にする。

第 3 項 : 本デクレは、必要となる全箇所において記録、公表、伝達されるものである。

於 : リーブルビル 2008 年 9 月 8 日

共和国大統領代理

国家大臣兼経済・財務・予算省

署名

Paul TOUNGUI

共和国大統領代理

国家元首

総理大臣、首相

署名

Jean EYEGHE NDONG

【基本設計概要説明時】

PROCES-VERBAL DES DISCUSSIONS
SUR L'ETUDE DU CONCEPT DE BASE
POUR
LE PROJET D'AMENAGEMENT
D'UN CENTRE D'APPUI A LA PECHE ARTISANALE DE LIBREVILLE
EN REPUBLIQUE GABONAISE
« Explication du rapport sommaire »

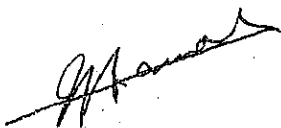
En octobre et novembre 2008, l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (désignée ci-après « la JICA ») a envoyé en République Gabonaise (désignée ci-après « Gabon »), une mission de l'étude du concept de base concernant le Projet d'Aménagement d'un Centre d'Appui à la Pêche Artisanale de Libreville (CAPAL) en République Gabonaise (désignée ci-après « le Projet »).

Suite à l'analyse des résultats de l'étude au Japon, la JICA a élaboré le rapport sommaire du concept de base.

La JICA a délégué au Gabon une Mission pour expliquer le rapport sommaire de l'étude du concept de base dirigée par Monsieur Junichi HANAI, Directeur de la Division de l'Agriculture en zone aride et semi-aride, Département du développement rural de la JICA, du 25 mars au 5 avril 2009.

A l'issue des discussions, les deux parties se sont mises d'accord sur les points suivants.

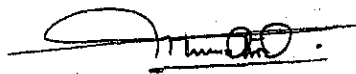
Fait à Libreville, le 2 avril 2009



M. Junichi HANAI

Chef de la mission d'explication
du Rapport sommaire du Concept de base

Agence Japonaise de Coopération
Internationale
Japon



M. Dominique MOUELE

Directeur Général
Direction Générale des Pêches et de l'Aquaculture

Ministère de l'Economie Forestière, des Eaux,
de la Pêche et de l'Aquaculture
République Gabonaise

COMPLEMENT

1. Contenu du rapport sommaire du concept de base du Projet

La Partie Gabonaise a confirmé et accepté après discussions, le contenu du rapport sommaire du concept de base du Projet présenté par la Mission, y compris les travaux à sa charge mentionnés dans le chapitre 3 du présent rapport.

Compte tenu de la situation actuelle de la pénurie de la glace fournie pour les pirogues de la pêche artisanale à Libreville et ses environs, la Partie Gabonaise a demandé à la Mission de réexaminer à la hausse la capacité de fabrique de glace mentionnée dans le rapport. En réponse à cette demande, la Mission a expliqué que cette capacité avait été estimée sur la base du volume des débarquements des sites concernés par le Projet uniquement pour la commercialisation des poissons frais.

A l'issue des discussions, la Partie Gabonaise a demandé à la Mission d'envisager dans la conception du Projet, la possibilité d'une extension ultérieure des installations de fabrique de glace dans le cadre d'un autre projet.

A la demande de la Partie Gabonaise de revoir à la hausse le nombre des équipements pour la vente au détail ainsi que leur contenu, la Mission a demandé et obtenu des informations supplémentaires en vue d'examiner cette requête.

La Mission a informé la Partie Gabonaise que le plan des installations et des équipements sera réexaminé dans la mesure du possible en tenant compte des demandes exprimées et des informations fournies.

2. Système de l'aide financière non-remboursable du Japon

La Partie Gabonaise a pris bonne note du système de l'aide financière non-remboursable du Japon indiqué dans le document annexe du procès-verbal des discussions signé le 18 juin 2008 entre elle-même et la Mission de l'étude préliminaire.

La Mission a fait part à la Partie Gabonaise des modifications intervenues au mois d'octobre 2008 dans le système de l'aide financière non-remboursable du Japon. Ainsi, un Accord de Don, dont le modèle a été remis à la Partie gabonaise, devra être signé par les deux parties. La Partie Gabonaise en a pris bonne note.

3. Calendrier de l'étude

La JICA élaborera le rapport final sur la base des points confirmés dans le cadre des présentes discussions et le remettra à la Partie Gabonaise avant le mois de mai 2009.

4. Confidentialité relative aux informations du Projet

4.1. Spécifications détaillées des installations et équipements

Les deux parties ont convenu que les plans détaillés, les spécifications des installations et des équipements du Projet ainsi que les autres informations techniques concernées ne devront pas être divulgués.

4.2. Confidentialité sur le coût approximatif

La Mission a expliqué que le coût approximatif du présent projet à la charge du Gouvernement du Japon est indiqué dans l'Annexe 1. Ce coût n'est pas définitif et des modifications pourront y être apportées. La Partie Gabonaise en a pris bonne note et a indiqué que la contrepartie estimée dans le rapport sommaire a été sous évaluée pour couvrir toutes les composantes du projet à sa charge.

La Mission a demandé à la Partie Gabonaise de présenter les documents justifiant les coûts réels des composantes à sa charge dans les meilleurs délais et de prendre des mesures budgétaires nécessaires.

Les deux parties ont confirmé que les documents relatifs au coût approximatif du Projet ne seront pas divulgués avant la conclusion de tous les contrats du Projet.

5. Autres points concernés

5.1. Site du Projet

Les deux parties se sont accordées, après explications de la Mission, à ce que les zones prévues pour la construction des installations du Projet restent telles que définies dans l'Annexe 2 du présent procès-verbal.

5.2. Gestion, Maintien et Maintenance des Installations du Projet

Pour que les installations du Projet soient opérationnelles dès l'achèvement des travaux, la Mission a demandé de nouveau à la Partie Gabonaise d'établir le plus tôt possible, un comité de gestion déjà confirmé lors de l'étude du concept de base ; de même, de prendre des mesures budgétaires nécessaires pour la gestion des installations.

En outre, la Mission a demandé à la Partie Gabonaise l'élaboration en concertation avec les membres du comité de gestion, dans les meilleurs délais, d'un règlement intérieur relatif à l'utilisation des installations. La Partie Gabonaise en a pris bonne note.

5.3. Procédures nécessaires à l'exécution du Projet

Concernant les procédures nécessaires pour l'exécution du Projet, telles que indiquées dans l'étude de concept de base, la Partie Gabonaise s'est engagée à :

- (1) Obtenir l'autorisation de construire auprès du Ministère de l'Urbanisme et du Cadastre et adresser copie au Bureau de la JICA/JOCV Gabon avant l'avis d'appel d'offre.

- (2) Obtenir l'autorisation relative aux installations de génie civil auprès du Ministère de la Marine Marchande et des Equipements Portuaires et adresser copie au Bureau de la JICA/JOCV Gabon avant fin mai 2009.
- (3) Réaliser les études d'Impacts sur l'Environnement et adresser les résultats au bureau de la JICA/JOCV Gabon avant fin mai 2009.
- (4) Assurer l'adduction d'eau, le branchement d'électricité et du téléphone et aménager la voie d'accès jusqu'au site du Projet comme indiqué dans l'Annexe-2 du présent procès verbal, avant l'achèvement des travaux.

5.4 Réunions des parties prenantes

La Partie Gabonaise a informé la Mission que les réunions de concertation avec les acteurs de la filière pêche exerçant au Pont Nomba et Alénakiri se sont tenues le 23 mars 2009. Les procès-verbaux sont joints dans l'Annexe 3.

5.5 Amélioration des conditions des débarquements

Afin de garantir les meilleures conditions de débarquements et le taux d'utilisation optimale des installations du Projet, et prenant en compte les résultats du calcul du taux de probabilité de non-dépassement de l'amplitude des vagues, les deux parties ont convenu que la Partie Gabonaise prenne les mesures nécessaires.

A cet effet, la Partie Gabonaise a informé la Mission que les dispositions pour la construction de la digue de protection des installations ont été prises en compte dans le cadre du Projet d'appui au Secteur Pêche et de l'Aquaculture (PSPA) financé par la Banque Africaine de Développement.

La Partie Gabonaise a également présenté les documents afférents.

Tout en exprimant la bienvenue de cet engagement, la Mission a demandé à la Partie Gabonaise que la conception de la digue soit envisagée adéquatement par rapport aux plans et au calendrier d'exécution du Projet.

La Partie Gabonaise l'a consenti et s'est engagée à effectuer la conception de la digue tout en minimisant les impacts sur l'environnement océanographique dans les environs du site du Projet tels que l'ensablement, l'érosion, etc, et à prendre des mesures nécessaires au cas où ces phénomènes se produiraient.

6. Recommandations

Afin d'obtenir de meilleurs résultats du présent Projet, la Mission a recommandé à la Partie Gabonaise qui en a pris bonne note, les points suivants :

- 6.1 Mettre en place une politique d'aménagement visant à concentrer les points de débarquements de Libreville et ses environs.

- 6.2 Sensibiliser les utilisateurs des installations du Projet aux bonnes pratiques d'hygiène dans les débarquements et le traitement des poissons frais, et sur le respect de l'environnement.
- 6.3 Elaborer et mettre en œuvre un plan d'aménagement des installations de transformation des produits de la pêche et de parcage des pirogues pour contribuer au développement de la pêche artisanale dans les meilleurs délais.
- 6.4 Examiner les possibilités d'aménager la voie venant du centre ville afin d'améliorer l'accès des utilisateurs au Projet.
- 6.5 Prendre des mesures nécessaires afin de prévenir les accidents pendant les travaux, notamment la notification au public de l'exécution des travaux à Libreville et ses environs, etc.
- 6.6 Procéder à la collecte séparée des ordures et des déchets des produits de la pêche afin d'assurer efficacement le traitement de ces derniers dans les installations du Projet et de contribuer à l'amélioration de l'environnement et à la valorisation de la ressource.

Annexe-1 : Coût approximatif du Projet

Annexe-2 : Plan du site du Projet

Annexe-3 : Procès-verbaux des réunions des parties prenantes

Annexe-1

Coût approximatif du Projet

Le coût total du Projet couvert par l'aide financière non remboursable du Japon est estimé à 1 371 millions de yens japonais. Ce coût approximatif est provisoire et devra être examiné par le Gouvernement du Japon pour approbation dans le cadre de l'aide non remboursable.

(1) Coût à la charge de la Partie japonaise

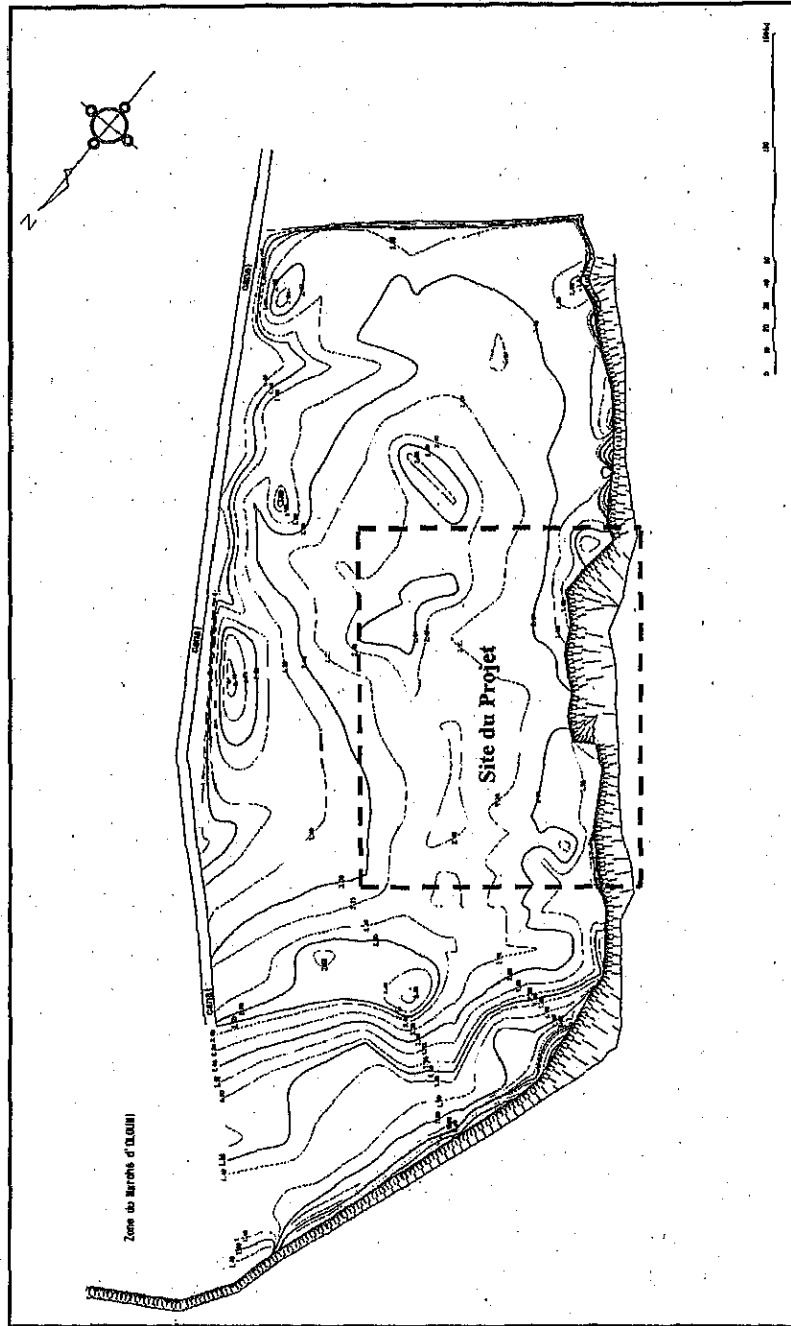
Le coût à la charge de la Partie japonaise est estimé à 1 371 millions de yens. Le tableau ci-dessous montre le contenu du coût du Projet.

Coût du Projet par catégorie	Montant (million de yens japonais)
1. Coût de construction	1 181
i. Coût de construction direct	980
ii. Dépenses sur le terrain	90
iii. Coût commun temporaire, etc.	111
2. Coût des équipements	46
3. Conception d'exécution/supervision d'exécution.	144
Total	1 371

(2) Conditions de l'estimation

- a. Date de l'estimation : octobre 2008
- b. Taux de change : 1 euro = 159,48 yen
1 US dollar = 106,75 yen
1 F CFA = 0,243 yen

Annexe-2 Plan du site du Projet



018

7

1

MINISTERE DE L'ECONOMIE FORESTIERE,
DES EAUX
DE LA PECHE ET DE L'AQUACULTURE

SECRETARIAT GENERAL

DIRECTION GENERALE DES PECHEES
ET DE L'AQUACULTURE

DIRECTION DES PECHEES ARTISANALES

BP 9498 Libreville Tel. 76 80 07 Fax. 76 80 07
Libreville (GABON)

REPUBLIQUE GABONAISE
Union - Travail - Justice

Compte rendu de réunion

Le lundi 23 mars 2009 à 9 heures 25 minutes, s'est tenue une réunion de concertation au Pont Nomba, entre les acteurs de la pêche exerçant leurs activités dans ce site et une délégation de la Direction Générale des Pêches et de l'Aquaculture.

La rencontre a eut lieu à l'église du site en présence de nombreux pêcheurs (voir la liste de présence en annexe).

L'ordre du jour portait essentiellement sur la présentation du concept de base du projet construction du nouveau Centre des Pêches de Libreville. Après la présentation du Directeur des Pêches Artisanales, les pêcheurs ont émis les observations suivantes :

- 1)- la longueur du quai leur paraît trop petite ;
- 2)- la sécurité des débarquements au quai du fait du ressac (leurs pirogues qui sont essentiellement construites en bois);

Comme proposition, les pêcheurs demandé que l'on s'inspire de l'exemple du quai de débarquement du port môle (digue de protection).

En outre, les pêcheurs ont émis des doutes sur la capacité de la pondeuse de glace à combler leurs besoins en glace, estimant que 9 tonnes par jour sont en dessous de la demande des pêcheurs. Il ont fait remarquer que la production de glace actuelle est absorbée en grande partie par d'autres segments économiques de la ville et notamment les boulangeries.

Pour combler ce manquement, ils ont fait la proposition de mettre en place des machines qui pourraient produire au moins 15 tonnes de glace par jour.

Mf

A


Enfin, les pêcheurs ont demandé au Directeur des pêches Artisanales de leur expliquer le mode de gestion du centre, préoccupation fondée sur la possibilité des pêcheurs étrangers d'être concernés par la gestion du centre.

Après de longues discussions le Directeur des Pêches Artisanales a fait la promesse à toutes les parties prenantes de ce site de transmettre leurs préoccupations à la hiérarchie pour prise en compte.

L'ordre du jour étant épuisé, la séance a été levée à 10 heures 30 minutes.

Fait à Libreville le 23 mars 2009

Le rapporteur



Thérèse-Lydie MAGANDJI



Lundi 23 mars 2009 : Point de vue

N° NOMS et Prénoms

Profession

Telephone

1	Ngouansouville Jean Roderic	Pecheur	07-85-76 06
2	Verdun Joris Stefan	Pecheur	07-36-68-32
3	Havik Patrick	Pecheur	07-79-98-69
4	Byomba Rudent Ayine	-/-	07-76-87-56
5	Ngoun Isaac Foumward	-/-	07-06-59-15
6	Tito Rava		07-42-52-25
7	EDER ASHOBON		
8	LINDI OUYAMOTO		07-02-93-61
9	OMOSCO - -		07 41 76 25
10	ANME ASHOBON		07 99 98 26
11	TOTAS DJUSOLAKO	-/-	07 59 57 12
12	GODWIN AYEMAYIN	-/-	07 22 43 69
13	SEAN OMBULEGA		07 53 61 50
14	TEMINA AYERIRO		07 87 42 56
15	TUNDE ALLEN-PARKER		07 65 58 43
16	ADAW AQUINFORUM		07 82 91 75
17	Sunday AKINBULEGA		06 07 67 29
18	Jephthor MEADYE		07 91 94 66
19	MESSEDEKY N. GILES		07 75 32 28
20	HAYE AYETODGA		07 85 32 76

07 35 40 75

3

100

Noms et Surnoms

fonction

Telephone

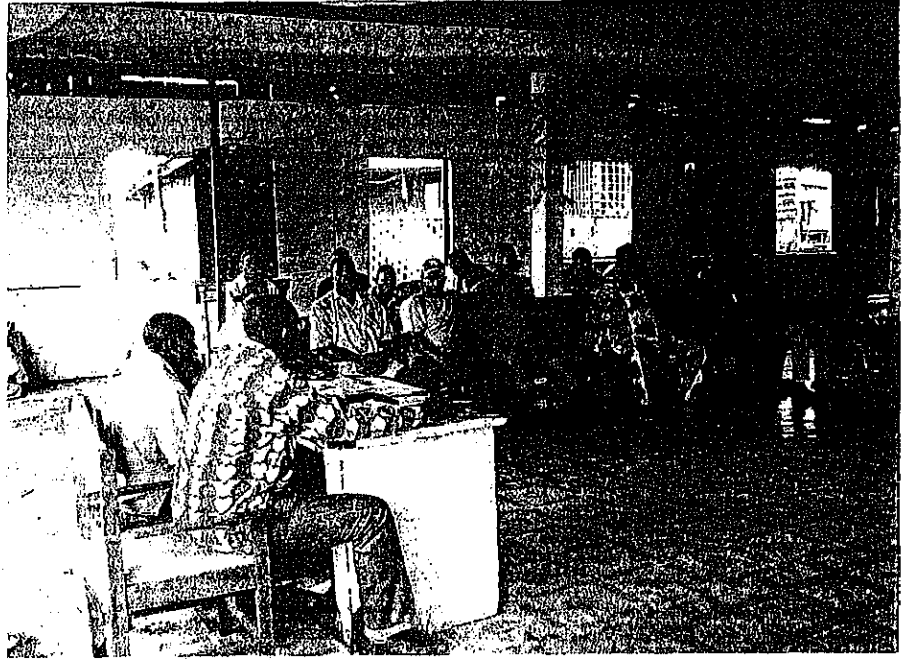
1.	ALI PETERS. A	Adjoint Principal du Notaire	07 28 62 94
2.	AYEFOBA OUMKEREI	Notaire du Port Nord	05 08 73 62
3	TOBLOU H. Fric	Chef Pecheur	07 37 76 36
4	KASSA Zomban	chef Pecheur	07 39 98 64
5	Florence Mafelma	chef Pecheur	07 89 04 23
6	ALISA BISSÉ	Pecheur	07 40 25 68
7	AETILE NICOLAS.	MÉCANICIEN	07 38.95.28
8	AGBESSOU JEAN	chef pêcheur	07 59 76 04
9	ASSIKERONE Summe	Pecheur	07 58 32 17
10	MWOTU AYEFOBA	Pecheur	05 38 94
11	ADISSOU FERIZ	PECHER	07 99 - 20 - 99
12	TOBEKEPE AIVEFOBA	-	07 96 74 73
13	TAIMBO BRIGNON	-	07-98-95-16
14	Retina AKISTEBA	-	07 32 55 10
15	TANIMAWO AKISTEMHIN	-	07 80 88 13
16	CLARODE EHMOROA	-	07 64 48 80
17	Adeleke EMDRUCOA	-	05 02 27 93
18	AETILE AUPHONSE	Agent stat DOPA	07 32 94 19
19	OMODE RAHAZEL	PECHER	07 33 52 49
20	OMODE AKAN	PECHER	07 08 81 30

21 EIKAA NICOLAS

PECHER

07 35 12 36

CONCERTATION DES PECHEUR A PONT NAMBA



mf

A

MINISTÈRE DE L'ÉCONOMIE FORESTIÈRE,
DES EAUX
DE LA PÊCHE ET DE L'AQUACULTURE

SECRETARIAT GÉNÉRAL

DIRECTION GÉNÉRALE DES PÊCHES
ET DE L'AQUACULTURE

DIRECTION DES PÊCHES ARTISANALES

BP 9498 Libreville Tel. 76 80 07 Fax. 76 80 07
Libreville (GABON)

REPUBLIQUE GABONAISE
Union - Travail - Justice

Compte rendu de réunion

Le lundi 23 mars 2009 à 11 heures 40 minutes, une délégation de la Direction Générale des Pêches et de l'Aquaculture s'est rendue à Alénakiri, afin de tenir une réunion de concertation avec les acteurs du secteur de la pêche exerçant leurs activités dans la zone.

La rencontre a eut lieu à l'église d'Alénakiri en présence de pêcheurs et transformatrices (voir la liste de présence en annexe).

L'ordre du jour portait sur l'avancement de l'étude du concept de base pour l'aménagement du centre d'appui à la pêche artisanale de Libreville (CAPAL).

Après la présentation du Directeur des pêches artisanales, les pêcheurs par le canal de monsieur Fidel KANISSA ont présenté leurs observations par rapport au site d'Oloumi.

1)- difficultés liées à l'éloignement du site du projet par rapport à leurs pêcheries, puisque leurs pêcheries sont dans le Komo ils serait difficile pour eux de remonter jusqu'à Oloumi pour procéder aux opérations de débarquement et d'approvisionnement en glace.

2)- Augmentation des charges en carburant ce qui alourdit leurs investissements ;

3)- inquiétudes fondées sur les mouvements des eaux et la faiblesse de leurs moteurs pour affronter les courants et les houles à l'embouchure du fleuve Komo pour aller vers le site d'Oloumi.

Suite à cela, ils ont fait les suggestions suivantes :

- Maintien du Centre Communautaire des pêches Artisanales d'Owendo pour la production de glace.

- ajustements du projet en mettant en place une structure indépendante, par l'aménagement un quai de débarquement sur leur site afin d'améliorer leurs conditions de travail.

Ainsi, après de multiples explications le Directeur des Pêches Artisanales a fait la promesse de transmettre leurs préoccupations à qui de droit pour prise en compte.

L'ordre du jour étant épuisé, la séance a été levée à 12 heures 25 minutes.

Fait à Libreville le 23 mars 2009

Le rapporteur



Thérèse-Lydie MAGANDJI

Lundi 23 Mars 2003, Alenakun

N°	Noms et Prénoms	Fonction	Telephone
1	HANISSA FINEE	Chef Pêcheur	06 24 92 44
2	Mouss Plisip	Pêcheur	02 85 10 80
3	John Akli	Pêcheur	44 10 98 72
4	VICTOR	LOUPEUR	02 52 99 38
5	AKKIBL	LEZOU	-
6	ISRAEL		07 77 60 58
7	MEAS		07 64 74
8	ELISAH FEGEGUE	Pêcheur	07 56 98 57
9	Gammoul Duge	Pêcheur	
10	GIRSOB MI	Pêcheur	07 33 48
11	LE DANNON	KALIFI	
12	GARRIC I. AFIME	Pêcheur	07 10 88
13	Noricas Phidjis	Pêcheur	07 35 31 10
14	Mambs Samson	Pêcheur	07 37 34 84
15	Bethlehem Leu	Pêcheur	07 87 39 84
16	Sole range		02 18 04 07
17	Mgossi Israel		-
18	Chaf Josephin Fanni		07 84 02 95
19	Alfon. Paul		
20	Øren Wilfred		

LISTS of PRISONERS
Membé Raplael
Victor Fiabane
Elkanah Fiabane
Wilson Peregbe

PRISON

TELEPHONE

02-83 24 73

03-73-10-4

03-84-32 39

-

~~13~~

Wj

CONCERTATION DES PECHURS A ALENAKILI



M

A

(仮訳)

ガボン共和国リーブルビル零細漁業支援センター建設計画基本設計調査
(基本設計概要説明)
協議議事録

独立行政法人国際協力機構 (JICA) は、リーブルビル零細漁業支援センター建設計画 (以下、「プロジェクト」) に係る基本設計調査団を、2008年10月から11月にかけてガボン共和国 (以下、「ガ」国) へ派遣した。その後、日本国内における調査結果の解析を行い、JICA は基本設計概要書を作成した。

JICA は基本設計概要書の内容を「ガ」国政府に説明し協議を行うため、JICA 農村開発部 乾燥畑作地帯第二課長の花井淳一を団長とする基本設計概要説明調査団を2009年3月25日から4月5日の予定で「ガ」国に派遣した。

協議の結果、両者は付属書に記載した事項について合意した。

リーブルビル、2009年4月2日

花井 淳一
基本設計概要説明調査団長
独立行政法人国際協力機構
日本国

Dominique MOUELE
漁業・養殖総局長
森林経済・水利・漁業・養殖省
ガボン共和国

付属書

1. 基本設計概要書の内容について

「ガ」国側は、調査団により説明を受けた基本設計概要書の内容につき、同概要書の第3章に記載のある、被援助国が取るべき措置も含めて基本合意し、了解した。

なお、「ガ」国側はリーブルビル近郊で零細漁業の操業用に供されている氷が不足している現状を踏まえ、基本設計概要書にある製氷能力を高めるべく再考することを求めた。これに対し調査団は、本計画で整備する製氷機の能力は計画対象水揚サイトでの水揚量を基に鮮魚流通に必要な氷量を推計して計画したことを説明した。協議の結果、「ガ」国側は、製氷施設の将来における拡張余地を考慮した設計とすることを調査団に求めた。

また、「ガ」国側は計画施設における小売販売用機材の数量の増加及び内容の再考を調査団に求めると共に、関連する情報を調査団に提供した。

調査団は、「ガ」国側から得た要望・情報を踏まえ、可能な範囲で施設・機材の計画を再検討することを「ガ」国側に伝えた。

2. 日本の無償資金協力制度

「ガ」国側は、2008年6月18日付けで予備調査団との間で署名された協議議事録に添付されている日本の無償資金協力制度について理解したことを伝えた。

調査団は、2008年10月に日本の無償資金協力制度が変更され、新たに「ガ」国側と JICA との間で贈与契約 (G/A) を締結することとなったことを説明すると共に、G/A の雛形を「ガ」国側に提示した。

「ガ」国側は、調査団による説明の内容を理解した。

3. 調査の実施予定

JICA は今次調査にて確認された事項を基に最終報告書を作成し、2009年5月までに「ガ」国側に送付する予定である。

4. プロジェクト情報に係る秘密保持について

4. 1. 施設・機材の詳細仕様について

双方はプロジェクトに係る詳細図面及び施設・機材の使用の他、関連する技術情報は、本プロジェクトに関する全ての契約が締結されるまでは関係機関以外には開示しないことを確認した。

4. 2. 概算事業費の秘密保持について

調査団は、本プロジェクトに係る日本側負担分の概算事業費は別添1の通りであることを説明した。

調査団は、別添1に示す概算事業費は最終のものではなく、変更される可能性があることを説明し、「ガ」国側は同説明を理解した。

「ガ」国側は、概要書に記載されている「ガ」国側負担金額は、必要な負担事項の全てを賄うには過小であることを指摘した。これに対し調査団は、「ガ」国側に負担金額の積算資料を作成の上で日本側に提示すると共に、必要な予算措置を講じることを「ガ」

国側に求めた。

双方は、プロジェクトの概算事業費に係る資料は、本プロジェクトに関する全ての契約が締結されるまでは関係機関以外には開示しないことにつき合意した。

5. その他の関連事項

5. 1. プロジェクトサイト

調査団は、基本設計概要書に示すとおり本計画施設の建設予定区域について「ガ」国側に説明した。同計画を受け、本プロジェクトのサイトを別添2の通りとすることにつき、双方は合意した。

5. 2. 計画施設の運営維持管理について

調査団は、計画施設を完成直後から稼働させるため、基本設計調査時に確認した運営維持管理組織を可能な限り早期に設立すること、同時に施設の運営管理に必要な予算措置を講じることを「ガ」国側に求めた。また調査団は、施設利用規約に係る協議を、計画施設の管理委員会の構成員として予定されている人員と行った上で、早期に制定することを求めた。「ガ」国側は、調査団による要求を理解した。

5. 3. 本計画実施に必要な手続きについて

「ガ」国側は、基本設計調査時に確認された、本計画実施に際して必要となる手続きについて、以下の通り実施することを確約した。

- (1) 都市計画省による建築許可を取得の上、本計画の入札公示までに結果を JICA/JOCV ガボン駐在員事務所に報告する。
- (2) 港湾省による海洋土木施設に係る許可を取得の上、2009年5月末までに結果を JICA/JOCV ガボン駐在員事務所に報告する。
- (3) 環境影響調査を実施の上、2009年5月末までにその結果を JICA/JOCV ガボン駐在員事務所に報告する。
- (4) 別添2に示す計画サイトまでの水道・電気・電話・アクセス道路の整備を施設完成前に完了させる。

5. 4. ステークホルダー協議

「ガ」国側は、ポンナンバ、アレナキリを対象としたステークホルダー協議を2009年3月23日に実施したことを説明すると共に、同協議の議事録を別添3の通り提示した。

5. 5. 水揚環境の改善について

双方は、計画サイト前面海浜の波高別未超過出現率の算出結果に基づき、利用者の利便性・施設利用率の向上といった面から、前面海浜の静穏性を高めるために必要な措置を「ガ」国側が講じることにつき合意を得た。

これに対し「ガ」国側は、アフリカ開発銀行による漁業・養殖部門支援プロジェクト (PSPA) で計画サイト前面海浜において防波堤築造を実施することが考慮されている旨を、関連文書とともに調査団に提示した。調査団は、同プロジェクト実施の決定を歓迎すると共に、防波堤の設計は本計画の設計図面および施工計画を踏まえて適切に策定することを求め、「ガ」国側は同内容を了解した。加えて「ガ」国側は、防波堤については堆砂・浸食等、周辺海洋環境への影響を最小限に抑えるべく設計すると共に、将来周辺域において堆砂・浸食等が生じた場合は「ガ」国側が責任をもって必要な対応をとることを確約した。

6. 提言

調査団は、本計画の成果がより高く発現するために、以下の各事項について「ガ」国側に提言した。「ガ」国側は、各提言の内容を理解した。

6. 1. リーブルビルにおいて各地に分散して実施されている水産物の水揚を本計画施設に集約するため、必要な政策策定をすること。
6. 2. 本計画施設を活用して、衛生的で効率的な水揚・鮮魚取扱を行うため、施設利用者である漁民や鮮魚流通業従事者に対して必要な啓発活動を継続的に実施すること。
6. 3. 零細漁業振興に資するため、水産物加工施設、漁船の係留施設についても早期に整備に係る計画策定・実施を進めること。
6. 4. 利用者の利便性の観点から、リーブルビルの中心街方向に向けたアクセス路整備につき、検討を行うこと。
6. 5. 本計画施設建設期間中の事故防止のため、リーブルビル市内において工事実施を周知するなど、必要な措置を講じること。
6. 6. 本計画施設において発生する水産物由来の廃棄物を有効に活用し、環境改善・資源利用に資するため、廃棄物の分別収集及び有効利用をすること。

別添1：プロジェクトの概算事業費

2：プロジェクトサイト図

3：ステークホルダー協議議事録

プロジェクトの概算事業費

日本国政府の無償資金協力によって実施する場合に必要な事業費総額は約13.71億円となる。この概算事業費は暫定的なものであり、無償資金協力の承認のため日本国政府によってさらに検討される。

(1) 日本側負担経費

日本側負担経費は約 13.71 億円と見積もられる。下表はプロジェクト事業費の内訳を示す。

費 目	概算事業費 (百万円)
1. 建設費	1,181
1) 直接工事費	980
2) 現場経費	90
3) 共通仮設費等	111
2. 機材	46
3. 実施設計・施工監理	144
合計	1,371

(2) 積算条件

- ① 積算時点 ; 2008年10月
- ② 為替交換レート ; 1 € = 159.48 円
; 1 US\$ = 106.75 円
; 1 FCFA = 0.243 円

林業経済・水・水産・養殖省

事務局

水産・養殖総局

零細漁業局

ガボン共和国

団結 - 労働 - 正義

B.P.9498 TEL : 74.89.92 FAX : 76.46.02

リーブルビル (ガボン)

議事録

2009年3月23日月曜日9時25分、ボンノンバで活動する漁業セクター関係者との協議を行うために、水産・漁業総局は、当サイトへ赴いた。

本会議は、多数の漁民出席のもと（添付出席者リスト参照）、サイトの教会で開催された。

議題は主として、リーブルビル零細漁業支援センター整備計画の説明であった。零細局長による説明の後、漁民は以下のような所見を述べた。

- 1) 棧橋の長さが短すぎる
- 2) 砕波時、棧橋での水揚の安全性（ピローク船は主として木製である）

漁民はポール・モールの棧橋（防波堤）の例に倣うよう提案した。

また漁民は、氷の需要に応えるには、一日9トンの推定は漁民の需要を下回っているため、製氷機能力については疑念を抱いていることを示した。現状の氷の製造は、大部分が別の経済分野、特にパン屋で消費されていることを指摘した。

この不足を満たすには、少なくとも1日15トンの製造能力を持つ製氷機を設置するよう提案した。最後に、漁民は零細漁業局長に対し、センターの運営方法についての説明を要求すると共に、同センター運営に外国人漁民が関係する可能性についての懸念を表した。

零細漁業局長との長時間に渡る協議の後、局長は関係者すべてに対し、これら懸念事項については段階的に配慮していくことを伝えた。

議事日程を終え、当協議は10時30分に閉会した。

於：リーブルビル 2009年3月23日
報告者
(署名)

Thérèse-Lydie MAGANDJI

林業経済・水・水産・養殖省

事務局

水産・養殖総局

零細漁業局

B.P.9498 TEL : 74.89.92 FAX : 76.46.02

リーブルビル (ガボン)

ガボン共和国
団結 - 労働 - 正義

議事録

2009年3月23日月曜日 11時40分、アレナキリ地域で活動する漁業セクター関係者との協議を行うために、水産・漁業総局は、現地へ赴いた。

本会議は、漁民及び加工業者が出席し（添出席者リスト参照）、アレナキリ教会で開催された。

議題は、リーブルビル零細漁業支援センター（CAPAL）整備計画基本設計調査の進捗状況についてである。

零細局長からの紹介後、漁民は、フィデル・カニッサ(Fidel KANISSA)を介し、オルミサイトに関係する所見を提示した。

- 1) アレナキリ水揚場に対し、本計画サイトが遠隔となることの困難さ。現水揚場はコモ川にあるが、水揚業務及び氷の補給のためにオルミまで赴くことは現地漁民にとって困難となるとされる。
- 2) 投資負担を重くさせる燃料費増大。
- 3) コモ川の河口からオルミサイトまでの航路で水流・波浪に直面することから、移動及びエンジン能力の低さについて懸念。

続いて、次のような提案を受けた。

- ・ オウエンド零細漁業共同センターでの製氷の持続
- ・ 勤務条件改善に向けて、アレナキリサイト内に水揚棧橋を整備することにより、自立的構造を確立するようプロジェクトを調整

多方面からの説明の後、零細漁業局長はこれら懸念事項について、担当関係者へ伝えることを約束した。

議事日程を終え、12時25分に閉会した。

於：リーブルビル 2009年3月23日
報告者
(署名)
Thérèse-Lydie MAGANDJI